

第6章 みんなで支え合い 子どもたちを育てていく

第6章 みんなで支え合い 子どもたちを育てていく

第1項 次世代の担い手を育てる環境づくり(次世代育成)

基本事業	事業の内容	担当課係名	平成28年度評価				
(1) 次代の親の育成(結婚・出産等の支援)							
①男女の出会い、交流の場の創設	【01】男女の出会い、交流の場の創設 ●結婚を目的とする出会いを支援するため、結婚相談所の運営および交流イベント等を実施します。 ・常設の結婚相談所「愛ねっと北部」を、下伊那北部地区5町村で共同運営します。 ・松川町結婚相談所の運営を支援します。 ・家庭を持つことや子どもを育てることの喜び、意義を認識してもらうため、継続的に講座やセミナー等を開催します。【新規】	保健福祉課 福祉係	(達成状況・課題) ・「愛ねっと北部」登録者60名のうち2組が成婚、町の結婚相談所登録者61名のうち1組が成婚となった。町の結婚相談所については、3年間の登録制を導入するとともに、毎月結婚相談会を開催している。「愛ねっと北部」は、趣向をこらした婚活イベントを実施している。 ・未来デザイン支援講座については、早い段階から町内企業を中心に受講者を募集したが、参加者の確保が難しく12名の参加に止まった。				
			(今後の取り組み・改善策) ・「結婚新生活支援事業補助金」の創設により、経済的な理由で結婚に踏み出せない世帯を支援していく。 ・イベントやセミナーについては、「愛ねっと北部」の事業に参画し、推進していく。				
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>目標指標</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>婚姻率(1,000人当りの婚姻件数の割合)</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>	目標指標	単位	婚姻率(1,000人当りの婚姻件数の割合)	%
目標指標	単位						
婚姻率(1,000人当りの婚姻件数の割合)	%						
②めばえ支援(不妊治療費等助成)事業	【01】めばえ支援(不妊治療費等助成)事業 ●不妊症や不育症に悩む夫婦を援助するため、「めばえ支援事業」を実施します。 ・制度の内容について、町ホームページや広報誌への掲載、また産科医院へのチラシの設置等で周知します。	保健福祉課 保健予防係	(達成状況・課題) 町ホームページで、県の補助制度とあわせて周知。個別相談も実施して9件の補助金を交付した。 (今後の取り組み・改善策) 妊娠につながるケースが多いため、引き続き支援を行う。				
(2) 子育て世帯への経済的支援							
①子育てへの経済的支援	【01】出生祝い品給付事業 ●子どもの誕生に際し、健やかな発育を願い出生祝い品を給付します。 ・出生祝い品の金額・支給方法について検討します。	保健福祉課 福祉係	(達成状況・課題) H28年度については95名(第1子41人、第2子34名、第3子17人、第4子以降4名)、5,440千円を支給決定した。給付方法については、要望によりマークン商品券と現金の半分ずつの給付としている。全額現金による給付も検討したが、町内産業への還元を考慮し、次年度は現状のまま運用することとした。 (今後の取り組み・改善策) 申請者に対しアンケートを実施し、より効果的な制度になるよう検証していく。				
	【02】福祉医療助成事業 ●子どもの福祉の向上と保護者の経済的負担を軽減するため、福祉医療助成事業を実施します。 ・長野県福祉医療費補助金交付要綱に基づいて実施します。 ・診療報酬明細書につき、300円の自己負担についても無料化を検討します。		(達成状況・課題) H28年度において延32,675人に対し、70,044千円を給付した。給付費の割合では18歳以下の児童が48%、給付額33,609千円で最も多く、次に重度障害者が30%、20,667千円となっている。国は医療費の窓口負担完全無料化を検討しており、その動向を注視していく。 (今後の取り組み・改善策) 国の未就学児までのペナルティ撤廃や、県の中学校卒業までのペナルティ分半額支出などの動きを受け、H30年度予算では、これに対応した予算編成を行う必要がある。また、当町では高校生年齢相当までの無料化を実施しており、それらとの調整を行っていく必要がある。				
	【03】児童手当の支給事務 ●次代の社会を担う子どもの健やかな育ちを社会全体で応援するため、中学生までの児童を対象に児童手当を支給します。 ・保育料や学校給食費等の納付を促すような支給手続きを実施します。		(達成状況・課題) 延19,707人、221,545千円を給付した。 (今後の取り組み・改善策) 引き続き出生や転入等の児童を養育する世帯について、資格や所得要件等の給付決定を適正に行い、迅速な給付に努める。				

第6章 みんなで支え合い 子どもたちを育てていく

平成29年度評価					平成30年度評価		総括評価	
<p>(達成状況・課題) ・「愛ねっと北部」登録者59名のうち成婚は0件だった。マッチングでは19人(男性11人、女性8人)をつなげたものの成婚には至らなかった。 ・町の結婚相談所は登録者64名で、仲介を含め6名が成婚に至った。 ・平成29年度より結婚新生活支援事業に取り組んだが、新婚世帯の所得要件が厳しく、補助金の交付実績については1件に止まった。</p>					<p>進捗状況 (達成状況・課題) ○ ・「愛ねっと北部」登録者59名の内成婚は0件だった。マッチングにより見込みがある方が1件ある。 ・町の結婚相談所は登録者64名で、仲介は2件となっている。登録者でも自力で3件が交際中である。 ・結婚新生活支援事業を継続実施したが、所得要件、年齢要件、居住地などの要件に該当せず実績は0件だった。</p>		<p>基本事業の成果指標 B 登録者を継続制から3年毎の更新制にすることにより登録者の活性化を促したり、大きなイベントではなく北部ブロック内での連携によるマッチングに重点を置くなど、活動内容を模索しながら実績増加に努めた。</p>	
<p>(今後の取り組み・改善策) 引き続き「愛ねっと北部」、町結婚相談所の運営に参画し、相談やマッチング事業を支援していく。結婚新生活支援事業については、補助金給付上限額を24万円⇒30万円に増額したことから、制度の周知にも力を入れていく。</p>					<p>(今後の取り組み・改善策)</p>		<p>次期計画の方向性 維持継続 新規登録者獲得が難しい中、愛ねっと北部や飯田市、天竜縁結びの会(北部、宮田、駒ヶ根、飯島、中川)など連携を深め、登録者のマッチング機会を増やし実績を上げる事を目標としていく。</p>	
H26	H28	H29	H30	H31	H31	目標値の説明		
基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値			
4.0	4.0	4.1 (町独自調査による)	4.8 (町独自調査による)		4.8	長野県の婚姻率の目標値(5%)を鑑み、同水準を目指します。		
<p>(達成状況・課題) 町ホームページや窓口を通じて、制度の周知を行った。個別相談も実施し、9件の補助金を交付した。</p>					<p>進捗状況 (達成状況・課題) ○ 町ホームページや窓口を通じて、制度の周知を行った。個別相談も実施し、1件の補助金を交付した。</p>		<p>基本事業の成果指標 A 県の制度と合わせて補助制度の広報を実施した。</p>	
<p>(今後の取り組み・改善策) 引き続き支援を行う。</p>					<p>(今後の取り組み・改善策)</p>		<p>次期計画の方向性 維持継続 今後も医療機関と連携して、相談しやすい体制づくりを実施していく。</p>	
<p>(達成状況・課題) 出生子育て支援金については85名(第1子34名、第2子32名、第3子17名、第4子2名)に合計5,200千円を支給した。アンケートによれば、給付方法については69%が妥当であると回答している。</p>					<p>進捗状況 (達成状況・課題) ◎ ・H30年度については85名(第1子37名、第2子26名、第3子17名、第4子以降5名)、5,350千円を支給した。 ・給付条件である松川町への居住1年経過該当者について、もれなく対応し給付に繋がった。</p>		<p>基本事業の成果指標 A 子育て世帯への支援をそれぞれ滞滞なく行った。福祉医療の現物給付化については、広報等で周知を行いスムーズに移行することができた。</p>	
<p>(今後の取り組み・改善策) 引き続きアンケートを実施する。給付方法については、当面現在の方法を維持する。</p>					<p>(今後の取り組み・改善策)</p>			
<p>(達成状況・課題) H29年度において延べ33,824人に対し、合計69,454千円を給付した。給付費の割合では18歳以下の児童が49%、給付額34,263千円で最も多く、次に重度障害者が29%、20,657千円となっている。</p>					<p>進捗状況 (達成状況・課題) ◎ ・8月診療分から18歳(高校生年齢相当)までの児童等において現物給付化となったが、広報や児童手当現況届の際に通知を行いトラブルはなかった。 ・H30年度において延べ29,577人に対し、合計69,225千円を給付した。</p>		<p>次期計画の方向性 維持継続 ・出生祝い品の支給について子育て世帯への経済的安定の支援及び、松川町への居住促進のため引き続き行っていく。 ・福祉医療については、長野県基準である受益者負担500円及び15歳(中学生年齢相当)に対し、町は受益者負担300円、対象年齢18歳(高校生年齢相当)まで対応しており、無料化については国や他市町村の動向を踏まえ検討していく必要がある。</p>	
<p>(今後の取り組み・改善策) 平成30年8月診療分から18歳(高校生年齢相当)までの児童等について、一部負担金(300円)を除き現物給付となる。これに伴い受診者の増加が予想される。また、これにより先発医薬品の使用も見込まれることから、既に町内薬局には協力を求めているが、必要に応じて後発医薬品への対策を講じる。</p>					<p>(今後の取り組み・改善策)</p>			
<p>(達成状況・課題) 延べ19,174人に対し、合計216,180千円を給付した。</p>					<p>進捗状況 (達成状況・課題) ◎ ・延べ19,001人に対し、合計214,545千円を給付した。</p>			
<p>(今後の取り組み・改善策) 引き続き出生や転入等の児童を養育する世帯について、資格や所得等の情報を情報連携システム(マイナンバー)等を活用して取得し、適正な給付に繋げる。</p>					<p>(今後の取り組み・改善策)</p>			

第6章 みんなで支え合い 子どもたちを育んでいく

②就園就学への経済的支援	【01】保育料の軽減措置 ●子育て家庭へ経済的支援として、保育料を軽減します。 ・3歳以上児について、第3子以降無料、第2子5割を軽減します。 ・保育料徴収基準額の見直しを随時行います。	こども課 保育園係	(達成状況・課題) 町独自として、所得制限なしで完全実施。 第2子半額人数:168人・第3子以降無料人数:91人が該当。(未満児も同様)
			(今後の取り組み・改善策) 今後も、子育て家庭への支援として継続していく必要がある。また、社会情勢等を見る中で、随時保育料徴収基準額の見直しを行っていく。
	【02】就学援助費の支援 ●経済的理由により就学困難と認められる家庭の負担軽減を図るため、就学援助費を支給します。 ・要保護児童生徒就学援助費、準要保護児童生徒就学援助費を支給します。	こども課 学校教育係	(達成状況・課題) 学校を通じて、援助費を必要とする家庭を把握し、認定者への支給を行った。認定審査について、生活保護認定基準を参考に、数値による客観的な判断ができる手法を取り入れている。28年度は児童・生徒126名に支給。
		(今後の取り組み・改善策) 援助制度を学校との連携により、判りやすく周知し、各家庭の状況把握を行い、適正な援助を行っていく。	
	【03】奨学金貸与事業 ●十分な学力や能力を備えているにも関わらず、経済的、金銭的に進学が難しい高校生や大学生を支援するため、学費や生活費の一部として奨学金を貸与します。 ・貸与条件:松川町に1年以上居住していること ・貸与額:高校生 月2万円以内 大学生等 月5万円以内 ・経済的に不利な家庭を支援できる制度の見直しを進めます。	こども課 学校教育係	(達成状況・課題) ・28年度において24名、9,240千円の貸与を行っている。今年度、新規に大学生5名・高校生2名に対し認定を行った。
			(今後の取り組み・改善策) 学校との連携や広報等で制度の普及に努めていく。

第6章 みんなで支え合い 子どもたちを育てていく

<p>(達成状況・課題) 町独自として、所得制限なしで完全実施した。第2子半額人数:163人・第3子以降無料人数:99人が該当した(未満児も同様)。</p>	<p>進捗状況 (達成状況・課題) ◎ 町独自として、所得制限なしで完全実施した。第2子半額人数:154人・第3子以降無料人数:96人が該当した(未満児も同様)。</p>	<p>基本事業の成果指標 A (学校教育・保育園)就園就学への経済的支援が必要な家庭に援助を行うことができた。</p>	
<p>(今後の取り組み・改善策) 今後も、子育て家庭への支援として継続していく必要がある。また、社会情勢等を見る中で、随時保育料徴収基準額の見直しを行っていく。</p>	<p>(今後の取り組み・改善策)</p>		
<p>(達成状況・課題) 援助費を必要とする家庭を学校を通して把握し、認定者への支給を行っている。認定審査は生活保護認定基準を参考に、数値による客観的に判断できる手法を取り入れている。29年度は児童70名・生徒49名に支給した。新入学学用品費については、入学前に支給できるよう要綱の改正を行った。</p>	<p>進捗状況 (達成状況・課題) ○ 援助費を必要とする家庭を学校を通して把握し、認定者への支給を行った。認定審査は生活保護認定基準を参考に、数値による客観的に判断できる手法を取り入れている。H30年度は児童77名・生徒54名に支給した。新入学学用品費については、入学前に26名に支給した。</p>	<p>次期計画の方向性 維持継続</p>	
<p>(今後の取り組み・改善策) 学校との連携により、援助費制度の周知を徹底する。申請家庭の収入等状況把握を行い、適正な援助を行っていく。</p>	<p>(今後の取り組み・改善策)</p>		
<p>(達成状況・課題) 29年度は、大学生等17名、高校生4名に対し、9,000千円の貸与を行った。うち当年度、新規に大学生等5名に対し認定を行った。29年度は、新しく日本育英会のHPに掲載を行うとともに、中学に個別のチラシを配布した。</p>	<p>進捗状況 (達成状況・課題) ○ 30年度は、大学生等17名、高校生3名に対し、9,720千円の貸与を行った。うち当年度、新規に大学生等5名、高校生1名に対し認定を行った。</p>	<p>・(学校教育)引き続き継続していくが、準要保護世帯に対する援助費が増加しており動向を注視し、予算計上する必要がある。また奨学金貸付について、国は奨学金給付型を拡大しつつあり、次期計画中に貸付制度そのものの検討が必要。 ・(保育園)幼児教育無償化に伴い、軽減制度の見直しが必要。</p>	
<p>(今後の取り組み・改善策) 今後とも学校との連携や広報等で制度の普及に努めていく。</p>	<p>(今後の取り組み・改善策)</p>		

第6章 みんなで支え合い 子どもたちを育んでいく

第2項 安心して子育てできる地域づくり(子育て支援)							
基本事業	事業の内容	担当課係名	平成28年度評価				
(1) 子どもや母親の健康の確保							
①乳幼児期の母子保健	[01]妊娠届(母子手帳、健康相談) ●妊婦が安心して安全な出産を迎えることができるよう、 母子健康手帳、受診券を交付します。 ・妊娠届時の聞き取りから、ハイリスク妊産婦※の把握につなげます。 ・母子健康手帳交付時に妊婦健診受診券を交付し、健診受診を促します。 ・低体重での出生は高額医療の原因、生活習慣病のリスクとなることから、予防のための情報提供を行います。 ※「ハイリスク妊産婦」…産前産後や子どもの胎児期、新生児期に危険が生じる可能性を高く持っている妊産婦のことです。	保健福祉課 保健予防係	(達成状況・課題) 対象者すべてに母子手帳と受診券の交付を行い、健診受診を促進した(H29.4～H30.2月末補助件数1,818件)。				
			(今後の取り組み・改善策) 低体重児等の実態把握を行い、ハイリスク妊産婦の支援につなげる。				
			(達成状況・課題) 年6回両親学級を開催、26名の参加があった。				
			(今後の取り組み・改善策) 病院等で実施されている両親学級等の情報収集を行いながら、町で行う両親学級の意義を据えていく。				
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>目標指標</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>両親学級参加率</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>	目標指標	単位	両親学級参加率	%	
目標指標	単位						
両親学級参加率	%						
	[03]ハイリスク妊産婦訪問指導 ●産前産後の妊産婦の健康を支援するため、 ハイリスク妊産婦へ助産師による妊婦訪問を行います。 ・把握した対象者に対して、助産師が訪問し、低出生体重児を防ぐための支援を行います。	保健福祉課 保健予防係	(達成状況・課題) H28年度は対象者がいなかったため、実施していない。				
			(今後の取り組み・改善策) 対象者の把握により、該当があった場合にはハイリスク妊産婦への支援を行う。				
	[04]新生児健診(2ヶ月訪問、股関節脱臼等) ●新生児の健やかな発育発達を図るため、 新生児健診事業を実施します。 ・(1ヶ月児)乳児一般健康診査 ・(2ヶ月児)発達段階や育児環境に応じた訪問指導となるよう随時内容を検討していきます。また、訪問時の実態から継続的な支援が必要な場合には保育士訪問につなげます。 ・(3ヶ月児)股関節脱臼検診 ・乳幼児健診・相談の場において母親の健康相談もを行います。	保健福祉課 保健予防係	(達成状況・課題) 1ヶ月児健診、2ヶ月児訪問、3ヶ月児健診を年間通じて実施した。 2ヶ月訪問実施後、育児不安を抱える母親4名に対して個別相談等継続的な支援を行った。				
			(今後の取り組み・改善策) 引き続き実施する。				

第6章 みんなで支え合い 子どもたちを育てていく

平成29年度評価					平成30年度評価		総括評価	
(達成状況・課題) 対象者すべてに母子手帳と受診券の交付を行い、健診受診を促進した(H29.4～H30.2月末 補助件数1,717件)。					進捗状況 (達成状況・課題) ◎ 対象者すべてに母子手帳と受診券を交付し、両親学級、医療機関の妊婦健診の受診勧奨を行った。(H30.4～H31.3月末 補助件数 1,628件)		基本事業の成果指標 以下のとおり	
(今後の取り組み・改善策) 引き続き実施する。					(今後の取り組み・改善策)		【保健福祉課:A】 妊娠期から乳幼児健診まで、母子保健事業を実施した。H30年10月から産後健診事業も開始し、産褥期の相談体制も充実させた。乳幼児健診で療育が必要な児に対し、こども課と連携してあそびの教室を実施した。	
(達成状況・課題) 年6回両親学級を開催し、参加者は32名(うち父親出席4名)であった。					進捗状況 (達成状況・課題) ◎ 年6回の両親学級を開催し、参加者は38名であった。(うち父親出席3名)であった。		【こども課:B】 助産師による2か月児訪問で赤ちゃんクラブへの参加を呼びかけ、低月齢児からの参加につながった。 保健福祉課と連携したあそびの教室では、支援センターの日々利用で積極的に参加者のフォローをしたり、入園後のフォローを行ったりした。	
(今後の取り組み・改善策) 引き続き、病院等で行われている支援についての情報収集を行い、両親学級開催の意義について整理するとともに、参加率の向上について検討する。					(今後の取り組み・改善策)			
H26	H28	H29	H30	H31	H31	目標値の説明		
基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値			
27.7	15.6	18.3	23.2		30	実績に加え、施策による増加分を見込みます。		
(達成状況・課題) 平成29年度は対象者がいなかったため、実施していない。					進捗状況 (達成状況・課題) ○ 平成30年度は対象者がいなかったため、実施していない。		次期計画の方向性 以下のとおり	
(今後の取り組み・改善策) 該当があった場合には、助産師による訪問支援を行う。					(今後の取り組み・改善策)		【保健福祉課:維持継続】 妊婦健診や産後健診時の情報を医療機関と情報共有することで、産後うつを早期に発見し相談にのることができる。 あそびの教室を1歳と2歳クラスに分け、早期から課題解決ができるようにこども課と連携を図る。	
(達成状況・課題) 年間通じて1ヶ月児健診、2ヶ月児訪問、3ヶ月児健診を実施した。 2ヶ月児は、対象者87名に対し助産師による訪問を行った。					進捗状況 (達成状況・課題) ◎ 年間通じて1ヶ月児健診、2ヶ月児訪問、3ヶ月児健診を実施した。 2ヶ月児は、対象者89名に対し助産師による訪問を行った。		【こども課:拡大・改善】 保健福祉課と連携し、妊娠期からの相談体制の構築を行う。また、子が1歳を迎えると社会復帰する母親も多いため、赤ちゃんクラブに助産師や保健師といった専門職を配置し、子育てに対する不安や負担に対し早期対応できるようにする必要がある。	
(今後の取り組み・改善策) 引き続き実施する。					(今後の取り組み・改善策)			

第6章 みんなで支え合い 子どもたちを育んでいく

<p>【05】保育士訪問事業</p> <p>●育児不安の解消および家族の育児負担の軽減や育児力形成のため、保育士による訪問支援を行います。</p> <p>・2ヶ月児訪問の様子から4ヶ月健診までの間に、保育士による訪問支援を行います。</p> <p>・「子育て支援センターおひさま」と連携し育児支援が必要な家庭に対して、保育士が訪問支援を行います。</p>	<p>保健福祉課 保健予防係</p>	<p>(達成状況・課題) 子育て支援センターおひさまと連携して、対象者4名に計7回の保育士訪問事業を実施した。</p> <p>(今後の取り組み・改善策) 引き続き子育て支援センター職員との連携体制をとり、母親の育児不安の解消等継続的な支援につなげる。</p>								
<p>【06】乳幼児健診・乳幼児相談事業</p> <p>●子どもや育児環境の実態を踏まえた親の育児力の形成を支援するため、乳幼児健診事業・乳幼児相談事業を実施します。</p> <p>・発育・発達異常の早期発見のため、4ヶ月、1歳半、3歳児を対象として乳幼児健診を実施します。医師と歯科医師の診察を行います。</p> <p>・7ヶ月児、10ヶ月児、12ヶ月児、2歳児、2歳6ヶ月児を対象とした乳幼児相談を実施します。保健師、栄養士、保育士、歯科衛生士による集団学習、個別相談を行います。</p> <p>・乳幼児健診・相談の未受診者に対して、受診勧奨を行い、対象者の実態に合わせて個別相談も行います。</p> <p>・集団指導・個別指導の内容を随時検討し、内容の充実を図っていきます。</p>	<p>保健福祉課 保健予防係</p>	<p>(達成状況・課題) 月齢、年齢に応じた乳幼児健診・相談を毎月実施した。乳幼児健診受診者数775名。時代に即した健診とするための集団指導の見直しを行った。</p> <p>(今後の取り組み・改善策) 乳幼児の生活実態(おむつがとれる、服を着替えることが出来る等)について、個別の対応だけでなく町全体としての傾向や実態の特徴を把握していく。</p> <table border="1" data-bbox="981 719 1428 1010"> <thead> <tr> <th>目標指標</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4ヶ月児健診受診率</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>1歳半児健診受診率</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>3歳半児健診受診率</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>	目標指標	単位	4ヶ月児健診受診率	%	1歳半児健診受診率	%	3歳半児健診受診率	%
目標指標	単位									
4ヶ月児健診受診率	%									
1歳半児健診受診率	%									
3歳半児健診受診率	%									
<p>【07】療育支援の実施</p> <p>●子どもの成長や発達を促すため、親子のふれあい遊びや課題遊びを通し療育を行います。</p> <p>・理学療法士、言語聴覚士、保育士、子育て支援センター保育士、保健師による遊びの教室を行います。年間を通して、さまざまな課題遊びを行い、親子の関わりを通じて発達を支援します。</p> <p>・「子育て支援センターおひさま」や「療育支援センターひまわり」と連携し、専門機関への紹介も行います。</p> <p>・理学療法士、言語聴覚士等の専門相談や専門機関への紹介を行います。</p>	<p>保健福祉課 保健予防係</p>	<p>(達成状況・課題) 理学療法士、言語聴覚士、保育士、保健師等各種専門職が連携し、年23回遊びの教室を開催し、総合的な発達支援を行った。</p> <p>(今後の取り組み・改善策) 母親の考えや不安を把握し、親も含めた支援を行うため、臨床心理士による母親面談を年2回実施していく。</p>								
<p>【08】赤ちゃんクラブ事業</p> <p>●妊婦と乳児とその母との交流を通して、産前産後の精神的安定を図るため、安心できる出産や子育て、親子の健全な発達育成を支援します。</p> <p>・妊婦から12ヶ月児までの親子を対象としたサークル活動支援を「子育て支援センターおひさま」で行います。</p>	<p>こども課 こども係</p>	<p>(達成状況・課題) ・新たに講師をお願いし、二つの新企画を展開した。 ・保護者からアンケートをとることで、子育ての悩みや疑問に直結する話を講師にお願いすることができた。また、臨床心理士に入ってもらい母子の精神的安定を図ることができた。 ・1～2回参加して来なくなってしまう親子も多く、継続参加・日々利用につながるような企画を展開していく。 ・乳健での声かけを継続していく。</p> <p>(今後の取り組み・改善策) ・1～2回参加して来なくなってしまう親子も多く、継続参加・日々利用につながるような企画を展開していく。 ・乳健での声かけを継続していく。</p>								

第6章 みんなで支え合い 子どもたちを育てていく

(達成状況・課題) 平成29年度は、対象者がなかったため実施していない。					進捗状況 ○	(達成状況・課題) 平成30年度は対象者がいなかったため、実施していない。
(今後の取り組み・改善策) 引き続き子育て支援センター職員との連携体制をとり、母親の育児不安の解消等のため継続的な支援につなげる。					(今後の取り組み・改善策)	
(達成状況・課題) 月齢、年齢に応じた乳幼児健診・相談を毎月実施した。乳幼児健診受診者数788名。					進捗状況 ◎	(達成状況・課題) 月齢、年齢に応じた乳幼児健診・相談を毎月実施した。乳幼児健診受診者数778名。
(今後の取り組み・改善策) 引き続き町全体の傾向や実態を把握していく。					(今後の取り組み・改善策)	
H26 基準値	H28 実績値	H29 実績値	H30 実績値	H31 実績値	H31 目標値	目標値の説明
100	99	100	99		100	現状の水準を維持します。
96	100	97	99		98	現状の水準を維持します。
98	100	99	99		99	現状の水準を維持します。
(達成状況・課題) 理学療法士、言語聴覚士、保育士、保健師等の各種専門職が連携し、年23回遊びの教室を開催し、総合的な発達支援を行った。遊びの教室登録者数18名(平成30年3月末現在)。					進捗状況 ◎	(達成状況・課題) 理学療法士、言語聴覚士、保育士、保健師等の各種専門職が連携し、年23回遊びの教室を開催し、総合的な発達支援を行った。遊びの教室登録者数17名延べ208名参加。
(今後の取り組み・改善策) 言語の発達支援の拡充について検討する。					(今後の取り組み・改善策)	
(達成状況・課題) ・年間計画に基づき全18回の赤ちゃんクラブを開催、年間通して90組の登録、総参加人数は686人であった。 ・4か月児健診での呼びかけ後の参加が多かった。 ・離乳食に関する相談が多く、栄養士との連携が不可欠である。					進捗状況 ◎	(達成状況・課題) ・年間計画に基づき全19回の赤ちゃんクラブを開催、年間で98組の登録があり、総参加人数は783名であった。 ・2か月児訪問時の助産師の呼びかけによる参加が多かった。 ・来年度は妊婦向けのサークルを計画し、妊娠期からの子育て支援を図る。
(今後の取り組み・改善策) ・次年度は希望者に離乳食講座を行う(5月・11月)。 ・活動の中で自然と参加者同士が話したり、協力したりする活動を取り入れる(おもちゃ作り・赤ちゃん運動会など)。 ・乳健で引き続き参加の呼びかけをしていく。					(今後の取り組み・改善策)	

第6章 みんなで支え合い 子どもたちを育んでいく

(2) 地域における子育て支援サービスの充実							
① 子育て支援相談体制の充実	【01】地域子育て支援拠点事業 ● 子育て家庭に対する育児不安等についての相談指導および、子育てサークルへの支援を行うため、「子育て支援センターおひさま」を運営します。 ・子育て全般に関する相談・援助を行い育児負担の軽減を図ります。 ・地域の高齢者など様々な年齢層との世代間交流を図ります。 ・地域に出向いた子育て支援活動に努めます。 ・子育て交流の場へ父親の利用を呼びかけ、父親の子育て参加を進めます。 ・きめ細かな育児相談事業に努め、必要に応じて関係機関と連携し、育児負担の軽減を図ります。	こども課 こども係	(達成状況・課題) ・開所日286日。 ・父親の来所は年々増加している(H27年度35人→H28年度59人)。 ・土曜企画を開催することで、保育園に通っている未満児親子にも参加してもらうことができた。 (今後の取り組み・改善策) ・先輩ママの実体験に基づく話をしてもらったり、お母さん同士で学び合う「きらりん広場」を必要に応じて開催する。				
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>目標指標</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子育て支援センター延べ利用者数</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table>	目標指標	単位	子育て支援センター延べ利用者数	人
	目標指標	単位					
	子育て支援センター延べ利用者数	人					
【02】家庭児童相談事業 ● 育児不安や育児負担の軽減を図るため、地域の子育て家庭の保護者や児童等に対する相談指導を行います。 ・子育て相談員(小中学生対象／おひさま) ・生徒指導専門員(教育相談全般／中央公民館内教育相談室) ・心理相談員(子育て全般／乳幼児健診、保育園および学校巡回) ・家庭訪問支援(養育困難家庭への訪問支援) ・子どもへの関わり方を学ぶ「ペアレント・トレーニング」の充実を図ります。	こども課 こども係	(達成状況・課題) ・こども相談(50件) ・教育相談(142件) ・ペアレントトレーニング(8組参加) ・心理士の常勤採用により、専門性を生かした相談事業が日々提供できた。 (今後の取り組み・改善策) ・ペアレントトレーニングは引き続き行っていく。 ・保健師と情報を共有し、連携をとりながら訪問支援を行っていく。					
【03】子育て支援情報の提供 ● 子育て支援事業に関する情報、子育て情報等を保護者に提供するため、情報誌「サポータ」を毎月発行します。 ・子育て支援センター・役場・病院・銀行・農協・スーパー・図書館・清流苑等に設置します。 ・保育園、乳幼児健診時に配布します。 ・ホームページへ掲載します。	こども課 こども係	(達成状況・課題) ・「サポータ」を毎月発行し、HPにも掲載。 ・乳幼児健診や保育園で配布し周知した。 ・図書館、清流苑など町内12か所へ設置。 (今後の取り組み・改善策) ・サポータを発行し配布するだけでなく、読みたくなるような内容を掲載するよう、職員会などで検討していく。					
【04】子育て短期支援事業(ショートステイ・ワイライトステイ)【新規】 ● 保護者の疾病や仕事等の理由により家庭での子どもの養育が一時的に困難になった場合や、育児不安・育児疲れなどリフレッシュのため、一時的にお子さんを児童養護施設等においてお預かりし、養育・保護を行います。	こども課 こども係	(達成状況・課題) ・利用回数1回(仕事の都合によるもの) (今後の取り組み・改善策) ・育児不安から虐待につながることをないよう、事業の周知を図る。					

第6章 みんなで支え合い 子どもたちを育てていく

(達成状況・課題)					進捗状況	(達成状況・課題)	基本事業の成果指標	A
<ul style="list-style-type: none"> 開所日287日 延べ利用者数7,924人中、父親の来所は138名と大幅に増加した(H28年度59名)。土曜日や母親の出産前後の利用が多かった。 					◎	<ul style="list-style-type: none"> 開所日288日 延べ利用者数7,776名(うち父親125名) 子育てに関するさまざまな相談に応じ、必要に応じて保健師や心理士、保育園と連携し支援にあたった。 	<ul style="list-style-type: none"> 出生祝い品の支給については、子育て世帯への経済的安定の支援及び、松川町への居住促進のため引き続き行っていく。 福祉医療については、長野県基準である受益者負担500円及び15歳(中学生年齢相当)に対し、町は受益者負担300円、対象年齢18歳(高校生年齢相当)まで対応しており、無料化については国や他市町村の動向を踏まえ検討していく必要がある。 	
(今後の取り組み・改善策)					(今後の取り組み・改善策)			
H26 基準値	H28 実績値	H29 実績値	H30 見込み	H31 実績値	H31 目標値	目標値の説明		
7,910	7,566	7,924	8,076		8,000	出生数の減少や、母親の就労の増加を鑑みて現在と同水準とします。		
(達成状況・課題)					進捗状況	(達成状況・課題)	次期計画の方向性	拡大・改善
<ul style="list-style-type: none"> こども相談(54件) 家庭訪問支援3件(27回) 教育相談(230件) 心理士が非常勤となり、ペアレントトレーニングを行うことができなかった。 					○	<ul style="list-style-type: none"> こども相談(29件) 家庭訪問支援(2件) 教育相談(286件) 心理士によるペアレントトレーニングを行い、4組の親子が参加した。 	<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援センターの利用につながらない孤立しがちな家庭に対し、どう関わっていくか検討が必要である。 相談事業については引き続き保護者のさまざまな相談に応じ、関係機関と連携して支援していく。あらゆる相談に対し、切れ目のない支援ができるよう、多様な専門職の配置が必要である。 	
(今後の取り組み・改善策)					(今後の取り組み・改善策)			
<ul style="list-style-type: none"> ペアレントトレーニングを行うよう、心理士のサークルへの関わりを見直す。 保健師との連携により、訪問支援活動を充実させる。 								
(達成状況・課題)					進捗状況	(達成状況・課題)		
<ul style="list-style-type: none"> 子育て情報誌「サポータア」を毎月発行し、HPに掲載したほか、町内14カ所に設置した。 各保育園や乳幼児健診で配布した。 					◎	<ul style="list-style-type: none"> 町で行っている子育て支援だけでなく、町内の子育てに関するボランティア団体の紹介を行い、新規の参加につながった。 		
(今後の取り組み・改善策)					(今後の取り組み・改善策)			
<ul style="list-style-type: none"> ニーズに合わせて、中央公民館えみりあ1階に掲示する。 栄養士に協力してもらい、離乳食に関する内容を掲載する。 								
(達成状況・課題)					進捗状況	(達成状況・課題)		
<ul style="list-style-type: none"> 利用回数6件(仕事の都合5件、育児疲れ1件) 					◎	<ul style="list-style-type: none"> 利用件数14件(46回) 保育園での一時預かりでは補えない部分の子育て支援として、多くの利用があった。 11か月未満児の預かりに対応するため、新たに風越乳児院と契約をした。 		
(今後の取り組み・改善策)					(今後の取り組み・改善策)			
<ul style="list-style-type: none"> 一時保育や保育サポートと並んで、利用者のニーズに合わせて提案していく。 								

第6章 みんなで支え合い 子どもたちを育んでいく

②子育てネットワークづくり	【01】子育て支援ガイドブックの配布 ●子育て中の親子に子育て情報をわかりやすく提供するため、子育て支援情報をまとめた 子育て支援ガイドブック を作成配布します。 ・子育て情報誌「のびのび」を、乳幼児2ヶ月訪問時と住所転入親子へ配布します。 ・情報内容の変化等により随時見直しを行います。	こども課 こども係	(達成状況・課題) ・2か月訪問時と転入対象家庭に子育て情報誌「のびのび」を配布した。 (今後の取り組み・改善策) ・保護者のニーズに合わせた内容を随時検討していく。 ・引き続き2か月訪問時と転入家庭を対象に配布する。			
	【02】子育てサークル等支援事業 ●未就園児までの親子が同じ仲間と集い交流する場を提供するため、 子育てサークル活動の企画、調整、実施および自主サークルを支援 します。 ・赤ちゃんクラブ(別掲) ・ひよこクラブ(1歳～2歳までの親子) ・なかよしクラブ(2歳～3歳までの親子) ・わくわくクラブ(赤ちゃん～未就園児の親子/登録制) ・リズムであそぼ(未就園児までの親子/楽器を使ったリミック遊び)	こども課 こども係	(達成状況・課題) ・事業計画策定時は、各サークル月2回行っていたが、回数ではなく内容を重視するということで実績値が大幅に減少している。 ・各年齢・発達に合わせた内容を企画し、保護者の方にも好評だった。 ・土曜企画2回開催、32組参加 (今後の取り組み・改善策) ・サークル「げんきっこ」の新設。			
	【03】ながの子育て家庭優待パスポート事業・プレミアムパスポート事業(多子世帯向け・新規)の推進 ●企業や店舗に協賛をいただきながら、地域全体で子どもと子育て家庭を応援する気運づくりを進めるため、 地域の企業、店舗、施設が各種サービスを提供することにより、子育て家庭を地域で支えます 。 ・企業の社会貢献、地域でのコミュニケーションの広がりが期待できることを店舗に理解してもらえよう働きかけます。 ※「ながの子育て家庭優待パスポート事業」…子育て家庭が買い物などの際にカードを提示すれば、割引など各種サービスを受けられる事業です。(長野県と市町村共同、地域企業協賛事業)	こども課 こども係	(達成状況・課題) ・協賛店舗数 46→47店舗に増加 ・多子世帯応援クーポン券、プレミアムパスポートカードを配布した。 ・子育て家庭優待パスポート事業全国共通パスポートカードを配布した。 (今後の取り組み・改善策) ・対象家庭への配布を継続する。			
		<table border="1"> <tr> <th>目標指標</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>子育てサークルなど支援回数</td> <td>回</td> </tr> </table>	目標指標	単位	子育てサークルなど支援回数	回
目標指標	単位					
子育てサークルなど支援回数	回					
		<table border="1"> <tr> <th>目標指標</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ながの子育て家庭優待パスポート協賛店舗</td> <td>店</td> </tr> </table>	目標指標	単位	ながの子育て家庭優待パスポート協賛店舗	店
目標指標	単位					
ながの子育て家庭優待パスポート協賛店舗	店					

第6章 みんなで支え合い 子どもたちを育てていく

(達成状況・課題) ・2か月訪問時と転入対象家庭に子育て情報誌「のびのび」を配布した。					進捗状況 (達成状況・課題) ○ ・子育て支援センター利用者10名でのびのび編集委員会を立ち上げ、より充実した内容の情報誌ができた。 ・来年度は母子手帳交付時に配布し、妊娠期からの子育て支援につなげていく。	基本事業の成果指標 A ・リニューアルした子育て情報誌ののびのびは、より保護者のニーズに合った内容を掲載することができた。母子手帳交付時に妊婦に配布し、支援事業の周知を図ることができる内容となった。 ・年齢別のサークルでは、各年齢の発達や興味に即した内容を企画運営し、多くの参加があった。
(今後の取り組み・改善策) ・掲載内容変更に伴い、編集委員会を立ち上げ、リニューアルを行う。 ・引き続き、2か月訪問時と転入家庭に配布する。					(今後の取り組み・改善策)	
(達成状況・課題) ・サークル実施回数 78回 延べ参加人数2,490人 ・自主サークル支援 7回 ・土曜企画2回開催 18組45人参加 ・新たに開設した「げんきっこ」は、年齢に合った体を動かす活動を取り入れたことで、とても好評であった(全10回42組443人参加)。					進捗状況 (達成状況・課題) ◎ ・サークル実施回数60回 延べ参加人数1,969名 ・自主サークル支援 9回 ・土曜企画2回開催 47名参加 ・こどもが1歳になると仕事復帰する母親が多いため、ひよこクラブの参加人数が減少した。 ・来年度は各年齢の発達段階に応じた内容を計画している。	
(今後の取り組み・改善策) ・それぞれの年齢、発達段階に応じた内容を計画する。 ・保健師と情報交換し、孤立している保護者や育児不安の強い保護者にサークルへの参加を呼びかけ、仲間づくりのきっかけをつくる。					(今後の取り組み・改善策)	次期計画の方向性 拡大・改善 ・サークルに参加できない親子に対し、どう関わっていくか検討し、今後は各地区への出張ひろば等の開催の必要となってくるのではないかな。
H26 基準値	H28 実績値	H29 実績値	H30 見込み	H31 実績値	H31 目標値	目標値の説明
219	101	85	85		220	松川町子ども・子育て支援事業計画に基づいた目標値とします。
(達成状況・課題) ・協賛店舗・事業所数 51 ・多子世帯応援プレミアムパスポートの有効期限切れに伴い、対象家庭へ新カードの配布を行った(194世帯)。					進捗状況 (達成状況・課題) ◎ ・協賛店舗 54件 ・協賛店一覧パンフレットを更新した。 ・母子手帳交付時・転入時の配布が徹底されているため、各部署へ協力を依頼する。	
(今後の取り組み・改善策) ・商工会に協力を仰ぎ、協賛店舗、内容の見直しを行う。 ・転入家庭への配布を徹底する。					(今後の取り組み・改善策)	
H26 基準値	H28 実績値	H29 実績値	H30 見込み	H31 実績値	H31 目標値	目標値の説明
43	47	51	51		45	店舗廃業等による店舗数の減少と施策による増分を見込みます。

第6章 みんなで支え合い 子どもたちを育てていく

<p>③学童保育など仕事と育児の両立支援</p>	<p>【01】放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)</p> <p>●保護者が就労、介護看護等により、昼間家庭にいない小学生に遊びや生活の場を提供するため、放課後児童クラブを開設します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がいのある児童等、特に配慮を必要とする児童の受入れを行います。 ・設備および運営に関する基準による体制の整備を進めます。 	<p>こども課 学校教育係</p>	<p>(達成状況・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名子児童館登録156名(うち長期76名)、上片桐児童館登録85名(うち長期29名)。中央小の29.1%、北小の58.6%が利用。 ・例年に倣い、利用児童の少ない土曜日は合同保育を実施した。 ・夏休み期間中は利用児童の増加により、中央小大会議室、上片桐改善センターを利用し分館方式で保育を行った。 <p>(今後の取り組み・改善策)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の増加に対応した職員体制の整備が必要。 <table border="1" data-bbox="984 539 1428 667"> <thead> <tr> <th>目標指標</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>放課後児童クラブ利用人数</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table>	目標指標	単位	放課後児童クラブ利用人数	人
目標指標	単位						
放課後児童クラブ利用人数	人						
	<p>【02】放課後子ども教室</p> <p>●異学年児童との遊びの場や、様々な体験・交流活動等の機会を提供するため、学校の空き教室等を活用した放課後子ども教室を開校します。</p>	<p>こども課 学校教育係</p>	<p>(達成状況・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央小(週2回、1・2年生32名)、北小(週2回、1～6年生82名)の利用があった。様々なイベントを行うなど充実した活動を行った。 <p>(今後の取り組み・改善策)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・充実した活動内容を継続するために職員体制の確保が必要である。 ・放課後児童クラブとの運営の一体化に向けた検討を進めていく。 <table border="1" data-bbox="984 1106 1428 1227"> <thead> <tr> <th>目標指標</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>放課後子ども教室利用人数</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table>	目標指標	単位	放課後子ども教室利用人数	人
目標指標	単位						
放課後子ども教室利用人数	人						
	<p>【03】保育サポート事業</p> <p>●児童館や保育園での育児援助ができない部分を補うため、子育ての援助をしたい人と、援助を受けたい人との会員同士の相互援助活動をコーディネートします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提供会員の募集、相互に利用しやすいサービスの提供と事業の周知に努めます。 ・対象児童:生後4ヶ月～小学校6年生まで(病児・病後児保育可能) 	<p>こども課 こども係</p>	<p>(達成状況・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規登録11名 ・実施回数 1回 <p>(今後の取り組み・改善策)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員更新と新規会員の拡大 ・子育て支援センターおひさまを預かり場所にすることで、利用のしやすさを周知していく。 				

第6章 みんなで支え合い 子どもたちを育てていく

(達成状況・課題)					進捗状況	(達成状況・課題)	基本事業の成果指標	A
<ul style="list-style-type: none"> 29年度名子児童館登録176名(うち長期89名)、上片桐児童館登録82名(うち長期27名)。中央小の33.5%、北小の58.1%が利用している。 例年に倣い、利用児童の少ない土曜日は合同保育を実施した。 夏休み期間中は利用児童の増加により、中央小大会議室、上片桐改善センターを利用し分館方式で保育を行った。 					◎	<ul style="list-style-type: none"> 30年度名子児童館登録173名(うち長期82名)、上片桐児童館登録73名(うち長期20名)。中央小の32.2%、北小の57%が利用した。 例年に倣い、利用児童の少ない土曜日は合同保育を実施した。 夏休み期間中は例年どおり中央小大会議室、上片桐改善センターを利用し分館方式で保育を行った。 	放課後児童の安全安心な居場所として、児童館及び放課後こども教室を運用した。	
(今後の取り組み・改善策)					(今後の取り組み・改善策)			
<ul style="list-style-type: none"> 利用者の増加に伴う児童の安全確保のため、職員体制の充実が必要である。 								
H26	H28	H29	H30	H31	H31	目標値の説明		
基準値	実績値	実績値	見込み	実績値	目標値			
209	241	258	258		187	松川町子ども・子育て支援事業計画に基づき、今後の人口推計に基づいた減少分を見込みます。		
(達成状況・課題)					進捗状況	(達成状況・課題)	次期計画の方向性	拡大・改善
<ul style="list-style-type: none"> 29年度は中央小(週2回、1・2年生42名)、北小(週2回、1～6年生83名)の利用があった。様々なイベントを行うなど充実した活動を行った。 児童の安全確保、また活動の継続のため職員体制の充実が必要である。 放課後児童クラブとの運営の一体化に向け、合同でイベントを開催することができた。 					◎	<ul style="list-style-type: none"> 30年度は中央小(週2回、1・2年生35名)、北小(週2回、1～6年生79名)の利用があった。様々なイベントを行うなど充実した活動を行った。 児童の安全確保、また活動の継続のため職員体制の充実が必要である。 放課後児童クラブとの運営の一体化に向け、合同でイベントを開催することができた。 	特に児童館においては、利用人数の増加に伴い物理的、職員体制のキャパシティが限界を迎えており、利用人数の制限などの見直しをかける必要がある。	
(今後の取り組み・改善策)					(今後の取り組み・改善策)			
<ul style="list-style-type: none"> 活動の継続及び児童の安全確保のため、職員体制の充実を図る。 放課後児童クラブとの運営の一体化に向け、引き続き、合同でイベントを開催する。 								
H26	H28	H29	H30	H31	H31	目標値の説明		
基準値	実績値	実績値	見込み	実績値	目標値			
118	114	125	125		116	松川町子ども・子育て支援事業計画に基づき、今後の人口推計に基づいた減少分を見込みます。		
(達成状況・課題)					進捗状況	(達成状況・課題)		
<ul style="list-style-type: none"> 新規登録 依頼会員6名、提供会員1名 実施回数 28回 一時を利用できない1歳未満児や双子の利用があった。 					○	<ul style="list-style-type: none"> 実施回数 3回 今年度は短期支援事業の利用が多かった。 より利用しやすい事業にするため、提供会員の充実を図ると同時に、町民へ周知をしていく必要がある。 		
(今後の取り組み・改善策)					(今後の取り組み・改善策)			
<ul style="list-style-type: none"> 利用者のニーズに応えられるよう、提供会員を確保するため、社協や各種イベントで登録を呼びかける。 								

第6章 みんなで支え合い 子どもたちを育てていく

④乳幼児親子への情操教育	【01】乳幼児情操教育 ●豊かな情操・感性を育むため、人形劇観賞、コンサートなどを開催します。 ・人形劇、影絵、コンサート等を行います。 ・乳幼児親子に限らず、地域の住民にも呼びかけます。	こども課 こども係	(達成状況・課題) ・9月おひさままつり バルフレズ 162人 ・10月やさいも会 フィガロ 109人 (今後の取り組み・改善策) ・サークル「リズムであそぼ」開催 ・地域の方々にも参加していただけるよう、チャンネル・ユーやHPを使って呼びかけていく。
	【02】ブックスタート事業 ●絵本を通して、こどもの「こころ」や「ことば」を育み、親子の絆を深めることを応援するため、絵本のプレゼントを行います。 ・子育て支援センター職員、図書館司書、保育士、ボランティア「ノantanの会」のスタッフにより、絵本の紹介、読み聞かせ、親子遊び等実施します。	こども課 こども係	(達成状況・課題) ・7か月児参加(90名) ・11か月児参加(91名) ・絵本の見直しを行い、H29年度～計4冊を入れ替える (今後の取り組み・改善策) ・未配布絵本への対応策を検討する。(乳健で配布する、など)
	【03】子育て講演会の開催 ●保護者の子育てに対する理解を促進するため、「子育て支援センターおひさま」や保育園において、子育てに関する講演会を開催します。	こども課 こども係	(達成状況・課題) 栄養士の話(23名)・保健師の話(27名)・助産師の話(36名) ・理学療法士の話(49名)・歯科衛生士の話(45名)・わらべうた(20名)・親子運動あそび(21名)・親子クッキング(6名) (今後の取り組み・改善策) ・利用者のニーズに合わせた内容の講演会を企画する。 ・ボランティアスタッフやお母さんボランティアにも協力してもらい、安心して託児をする環境を整える。
⑤ひとり親家庭等自立支援	【01】ひとり親家庭の自立支援 ●児童を養育しているひとり親家庭の生活の安定と自立を助け福祉の増進を図るため、申請受付や窓口相談を行います。 ・飯田保健福祉事務所の女性相談員、就労支援相談員と連携し、相談業務を行います。 ・児童扶養手当や母子父子寡婦福祉会資金借入等について窓口相談を行っています。	保健福祉課 福祉係	(達成状況・課題) 児童扶養手当については、65名のひとり親世帯について現況届の受付処理等を行うとともに、新規認定10件、資格喪失17件を受理した。 母子父子寡婦福祉会資金について利用者はなかった。 (今後の取り組み・改善策) 児童扶養手当については、ひとり親の交友関係、所得、年金収入により受給資格の有無に影響することから、慎重な審査と現況の把握に努める必要がある。

第6章 みんなで支え合い 子どもたちを育てていく

<p>(達成状況・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月焼き芋会&ミニコンサート フィガロ 161人 ・赤ちゃんクラブ ベルフレンズ 21組46人 ・リズムであそぼ 全10回145組313人 	<p>進捗状況 (達成状況・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・焼き芋会&ミニコンサートフィガロ 148名 ◎ ・赤ちゃんクラブクリスマス会ティアラ 46名 ・リズムであそぼ(全10回)154組376名 	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">基本事業の成果指標</td> <td style="width: 50%;">A</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <ul style="list-style-type: none"> ・幼少期からの情操教育として、生の音楽や歌に触れる機会を設け、多くの親子の参加があった。 ・昼食前の絵本の時間にわらべうたあそびを行い、普段からわらべうたに触れることができた。 </td> </tr> </table>		基本事業の成果指標	A	<ul style="list-style-type: none"> ・幼少期からの情操教育として、生の音楽や歌に触れる機会を設け、多くの親子の参加があった。 ・昼食前の絵本の時間にわらべうたあそびを行い、普段からわらべうたに触れることができた。 	
基本事業の成果指標	A						
<ul style="list-style-type: none"> ・幼少期からの情操教育として、生の音楽や歌に触れる機会を設け、多くの親子の参加があった。 ・昼食前の絵本の時間にわらべうたあそびを行い、普段からわらべうたに触れることができた。 							
<p>(今後の取り組み・改善策)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方々への周知方法を検討し、サポーターだけでなく、チャンネル・ユーやお知らせカレンダー等で呼びかけていく。 		<p>(今後の取り組み・改善策)</p>					
<p>(達成状況・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7か月児参加 97人 ・11か月児参加 96人 ・未配布 2人 ・H28年度までの未配布分についても整理し、39人中2人に配布した。 	<p>進捗状況 (達成状況・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ ・7か月児 91名 ・11か月児 95名 ・未配布4名中2名は、集団への参加に苦しさのある母親である。そういった母親へどう働きかけるか、検討していく必要がある。 	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">次期計画の方向性</td> <td style="width: 50%;">維持継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <ul style="list-style-type: none"> ・子育てに関するさまざまな専門職による講演会を開催し、保護者の養育力向上を図る。 ・保健師や栄養士と連携し、当町の現状に沿った講演会を行うよう検討する。 </td> </tr> </table>		次期計画の方向性	維持継続	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てに関するさまざまな専門職による講演会を開催し、保護者の養育力向上を図る。 ・保健師や栄養士と連携し、当町の現状に沿った講演会を行うよう検討する。 	
次期計画の方向性	維持継続						
<ul style="list-style-type: none"> ・子育てに関するさまざまな専門職による講演会を開催し、保護者の養育力向上を図る。 ・保健師や栄養士と連携し、当町の現状に沿った講演会を行うよう検討する。 							
<p>(今後の取り組み・改善策)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・欠席者については電話連絡や通知により配布を徹底する。 ・絵本の内容や渡す時期について、お母さん達の意見を聞き、検討していく。 		<p>(今後の取り組み・改善策)</p>					
<p>(達成状況・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養士の話(13組)・保健師の話(13組)・助産師の話(29組)・理学療法士の話(37組)・歯科衛生士の話(23組)・わらべうた(31組)・親子運動あそび(29組)・親子クッキング(28組) 	<p>進捗状況 (達成状況・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ ・栄養士の話(19組)・保健師の話(23組)・助産師の話(12組)・理学療法士の話(44組)・わらべうた(16組)・親子運動あそび(21組)・親子クッキング(16組) ・来年度は乳幼児期のことばの発達について、言語聴覚士の講演を行う。 	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">次期計画の方向性</td> <td style="width: 50%;">維持継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <ul style="list-style-type: none"> ・子育てに関するさまざまな専門職による講演会を開催し、保護者の養育力向上を図る。 ・保健師や栄養士と連携し、当町の現状に沿った講演会を行うよう検討する。 </td> </tr> </table>		次期計画の方向性	維持継続	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てに関するさまざまな専門職による講演会を開催し、保護者の養育力向上を図る。 ・保健師や栄養士と連携し、当町の現状に沿った講演会を行うよう検討する。 	
次期計画の方向性	維持継続						
<ul style="list-style-type: none"> ・子育てに関するさまざまな専門職による講演会を開催し、保護者の養育力向上を図る。 ・保健師や栄養士と連携し、当町の現状に沿った講演会を行うよう検討する。 							
<p>(今後の取り組み・改善策)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者のニーズを聞き、ニーズに合わせた内容の講演会を企画する。 ・託児は事前申し込みとし、子どもの人数に合ったスタッフを確保する。 		<p>(今後の取り組み・改善策)</p>					
<p>(達成状況・課題)</p> <p>児童扶養手当は、104名のひとり親世帯について現況届の受付等を行うとともに、新規認定申請 13件を受付・審査し、資格認定につなげた。資格喪失は0件だった。母子父子寡婦福祉会資金の相談があり社会福祉協議会につなげるも決定には至らなかった。</p>	<p>進捗状況 (達成状況・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ <p>児童扶養手当について、115名のひとり親世帯に現況届の受付等を行うとともに、新規認定申請10件を受付・審査し、資格認定に繋げた。資格喪失は5件だった。母子父子寡婦福祉会資金について相談はなかった。</p>	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">基本事業の成果指標</td> <td style="width: 50%;">B</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <p>県と連携を取りながら児童扶養手当の認定等を行った。現況届の際は時間外窓口を行うなど申請しやすい体制作りを行った。</p> </td> </tr> </table>		基本事業の成果指標	B	<p>県と連携を取りながら児童扶養手当の認定等を行った。現況届の際は時間外窓口を行うなど申請しやすい体制作りを行った。</p>	
基本事業の成果指標	B						
<p>県と連携を取りながら児童扶養手当の認定等を行った。現況届の際は時間外窓口を行うなど申請しやすい体制作りを行った。</p>							
<p>(今後の取り組み・改善策)</p> <p>児童扶養手当は、新規認定を適正に行うほか、現在受給している世帯についても、必要がある場合は受給資格を具備しているか調査し、公平な給付を心掛ける。</p>		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">次期計画の方向性</td> <td style="width: 50%;">維持継続</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <p>児童扶養手当については県と連携を取りながら認定に繋げ、ひとり親家庭の生活安定等を図っていく。</p> </td> </tr> </table>		次期計画の方向性	維持継続	<p>児童扶養手当については県と連携を取りながら認定に繋げ、ひとり親家庭の生活安定等を図っていく。</p>	
次期計画の方向性	維持継続						
<p>児童扶養手当については県と連携を取りながら認定に繋げ、ひとり親家庭の生活安定等を図っていく。</p>							

第6章 みんなで支え合い 子どもたちを育んでいく

(3) 保育サービスの充実							
① 保育サービス	【01】通常保育事業 ●多様化する保護者の保育ニーズに対応するため、 保育事業を実施します。 ・町内全5園による保育サービスを提供します。(標準時間8:00～19:00・短時間8:00～16:00) ・保育課程により、各園特色ある保育を提供します。 ・子育て相談をはじめ様々な保育事業を実施します。 ・保育ニーズに合わせた保育の質の向上、保育サービス等の研究を実施します。 ・保育園と小学校で連携し、就学前の育成支援を行います。	こども課 保育園係	(達成状況・課題) ・園児数減少により、福与保育園は休園となった。 ・町内4園にて各種サービスを提供することができた。(標準認定:86名・短時間認定:325名) ・保育の質の向上を目的に、8月に職員全体の研修を行い、その後計画的に職員研修を行う事が出来た。 ・小学校と連携し、保育園で行う就学前の育成支援について研修することができた。 (今後の取り組み・改善策) ・年間通じて、改訂される保育指針に即した職員研修を実施していく。 ・再開する福与保育園で行う「やまほいく」のように、各園保育課程の見直しをしながら、特色を生かした運営を行っていく。 ・小学校との連携を密にし、子ども達が安心して進学できる環境を作っていく。				
	【02】延長保育事業 ●通常保育時間外の保育ニーズに対応するため、 延長保育を実施します。 ・町内5園で実施します。(平日:7:00～8:00・16:00～19:00)(土曜日:7:00～8:00・16:00～19:00 保育短時間)	こども課 保育園係	(達成状況・課題) ・標準時間認定の世帯が増加したことにより、「延長保育」としての受入は減っている。しかし、実際の園児数は増えており、延長保育士で足りない部分を正規・臨時職員が担当している。 (今後の取り組み・改善策) ・延長保育士・正規・臨時職員では、対応できない園も出てくるため、パート職員にも協力してもらう。				
	<table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td>目標指標</td> <td>単位</td> </tr> <tr> <td>延長保育受入園児数</td> <td>人</td> </tr> </table>		目標指標	単位	延長保育受入園児数	人	
	目標指標	単位					
延長保育受入園児数	人						
【03】乳児保育事業 ●3歳未満児の保育ニーズに対応するため、 未満児の保育を実施します。 ・実施園:名子中央保育園、双葉保育園、上片桐保育園、大島保育園(2歳児のみ) ・生後1歳未満の入園については相談に応じています。 ・未満児保育の人材確保およびニーズに応える方法を研究します。	こども課 保育園係	(達成状況・課題) ・特に途中入園の希望が多い未満児の受入をすするため、職員の配置見直しや、職員募集をかけながら、クラス数を増やし対応することができた。 (今後の取り組み・改善策) ・29年度より、大島で0.1歳児、福与で2歳児の受入を行う。 ・途中入園について、急遽の対応ができないことから、入園説明会時に、予定がある場合は事前申込をしてもらうようお願いしていく。					
<table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td>目標指標</td> <td>単位</td> </tr> <tr> <td>乳児保育受入園児数</td> <td>人</td> </tr> </table>		目標指標	単位	乳児保育受入園児数	人		
目標指標	単位						
乳児保育受入園児数	人						
【04】一時保育事業 ●疾病や冠婚葬祭等による一時的な保育ニーズに対応するため、 保育を要する未就園児について、一時保育を実施します。 ・実施園:名子中央保育園 ・週3日、月12日を上限として実施しています。(平日8:30～16:00、土曜日8:30～12:00) ・保育園の開園時間に合わせて、一時保育受入時間の延長を行います。	こども課	(達成状況・課題) ・保護者の希望により、未就園児をお預かりすることができた。 ・一時保育ではお預かりできない場合は、こども係の「保育サポートサービス」をご紹介することで、保護者の希望に対応することができた。 ・未満児で入園している子どもが増えていることにより、一時保育で受け入れる人数は減ってきている。					

第6章 みんなで支え合い 子どもたちを育てていく

(達成状況・課題) ・H28休園した福与保育園を再開した。町内5園にて各種サービスを提供することができた。(標準認定:101名・短時間認定:310名) ・保育の質の向上を目的に、5月に職員全体の研修を行い、その後11回職員研修を実施した。 ・小学校と連携し、保育参観後就学前の育成支援等について意見交換することができた。					進捗状況	(達成状況・課題) ・町内5園にて各種サービスを提供することができた。(標準認定:94名・短時間認定:321名) ・保育の質の向上を目的に、5月に職員全体の研修を行い、その後10回職員研修を実施した。 ・小学校と連携し、授業参観後就学前の育成支援等について意見交換することができた。	基本事業の成果指標	A
(今後の取り組み・改善策) ・年間を通じて、職員研修を実施していく。また、外部で計画される研修会等に職員を参加させ、質の向上に努めていく。 ・年度当初に保育課程の見直しを行い、特色を生かした運営を行っていく。 ・意見交換会や保小連絡会で小学校と連携を密にし、子ども達が安心して進学できる環境を作っていく。					/		次期計画の方向性 維持継続 ・町内の5園が、それぞれ特性を生かして選ばれる保育園を目指していく。 ・今後も未満児の途中入園希望者が増えることが予想されるため、計画的な職員採用や年度途中の採用・異動を行い対応をしていく。	
(達成状況・課題) ・延長保育士が不足し、正規・臨時職員だけでは対応できない園も出て来たため、パート職員にも協力してもらった。					◎	(達成状況・課題) ・延長保育士が不足し、正規・臨時職員だけでは対応できない園も出て来たため、パート職員にも協力してもらった。		
(今後の取り組み・改善策) ・現在の延長保育士が定年を迎えることもあり、職員募集を継続的にを行い、利用者の要望に応えるようにする。					/		目標値の説明 現状の数値に増加傾向にあるニーズ対応分を見込みます。	
H26	H28	H29	H30	H31	H31			
基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値			
143	93	103	111	/	150			
(達成状況・課題) ・途中入園希望者(特に未満児)の受入れをするため、加配を見直し、園を超えての職員異動や職員募集を行い、クラス数を増やし対応することができた。担任を持てる正規・臨時職員が不足したことから、特例としてパート職員がクラス担任を受け持った。 ・大島、福与で未満児保育を拡大した。					◎	(達成状況・課題) ・途中入園希望者(特に未満児)の受入れをするため、加配を見直し、園を超えての職員異動や職員募集を行い、クラス数を増やし対応することができた。担任を持てる正規・臨時職員が不足したことから、今年度も特例としてパート職員がクラス担任を受け持った。	目標値の説明 現状の数値に増加傾向にあるニーズ対応分を見込みます。	
(今後の取り組み・改善策) ・途中入園は急遽の対応ができないことから、入園説明会時に、予定がある場合は事前申込をもらうようお願いしていく。 ・途中入園を希望された場合、なるべく早く受け入れができるように調整を行っていく。					/			
H26	H28	H29	H30	H31	H31			
基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値			
77	97	119	115	/	100			
(達成状況・課題) ・保護者の希望により、未就園児をお預かりすることができた。 ・一時保育ではお預かりできない場合は、こども係の「保育サポートサービス」を紹介することで、保護者の希望に対応することができた。 ・利用者が多い日は、代替職員をお願いするなどして受け入れを行った。					◎	(達成状況・課題) ・保護者の希望により、未就園児をお預かりすることができた。 ・一時保育ではお預かりできない場合は、こども係の「保育サポートサービス」を紹介することで、保護者の希望に対応することができた。 ・利用者が多い日は、代替職員をお願いするなどして受け入れを行った。		

第6章 みんなで支え合い 子どもたちを育てていく

		(今後の取り組み・改善策) ・今後も未就園児の保護者が、気軽に利用できる体制を取っていく。
		目標指標
		単位
		一時保育受入園児数
		人
【05】病後児保育事業	こども課 保育園係	(達成状況・課題) ・「おひさまはるる」に委託した病児保育を利用した人数は、27人。病後児の利用は0人だった。 ・病後児保育を行うにあたり、28年度看護師を採用し上片桐保育園に配置した。
●病気中や病気の回復期にある児童の保育ニーズに対応するため、病気回復期にある園児を専用スペース等で一時的に預かります。 ・実施園：上片桐保育園 ・看護師、保育士を病後児保育担当として登録します。 ・病気のため保育園で預かることのできない児童に対して、健和会病院（飯田市県）内の「おひさまはるる」で病児保育を行います。 ・広報誌、ホームページ等により、サービス内容の発信を行います。		(今後の取り組み・改善策) ・医師の診断に基づき、適切な対応を行う。
【06】休日保育事業	こども課 保育園係	(達成状況・課題) ・就労が理由で利用する保護者が増加し、28年度193人の利用となった。
●日曜日や祝日の保育ニーズに対応するため、休日保育を実施します。 ・実施園：名子中央保育園		(今後の取り組み・改善策) ・今後も増加すると予想されるため、職員体制等を整え対応していく。
		目標指標
		単位
		休日保育受入園児数
		人
【07】保育園食育活動	こども課 保育園係	(達成状況・課題) ・年齢に合わせた野菜の栽培・収穫体験を全園で実施した。 ・地域の方に、畑づくりや栽培に関わっていただくことができた。 ・年長クラスを中心にクッキング体験を行うことができた。
●子どもが自らの感覚や体験を通して、自然の恵みとして食材や調理する人への感謝の気持ちが育つよう、野菜等の栽培、収穫、調理、食べるまで一連の活動を行います。 ・実施園：全園 ・年間食育計画に基づき「食」に関する活動を日々の保育に取り入れます。		(今後の取り組み・改善策) ・給食でも季節を感じられるメニューを多く取り入れ、食材の旬や栄養について話ができる機会を多く取り入れていく。
②保育園地域交流事業	こども課 保育園係	(達成状況・課題) ・各園地域のお年寄りの会やデイサービス、また小学生、中学生、松川高校生との交流を行う事が出来た。 ・ふれあい広場に参加し、人形劇の発表、食育についての展示を行い、多くの方に来場いただくことができた。
【01】保育園地域活動事業		(今後の取り組み・改善策) ・保育園側から地域の方にお話し、可能な限り交流する機会を増やしていけるようにしたい。 ・学生の保育体験、保育実習等の受入を行い、多くの人と係われる機会を作っていく。
●保育園と地域のふれあいのため、保育園が有する専門機能を活用し、地域活動を実施します。 ・地域のディサービスやお年寄りの会との交流、高校生、中学生との交流を実施します。 ・ふれあい広場、地区の文化祭における人形劇公演を行います。 ・食育等の専門的な知識を提供する世代間交流や異年齢児交流を行います。		
【02】保育園開放事業	こども課 保育園係	(達成状況・課題) ・各園で年間計画を作成し、未就園児と園児が交流しながら活動することができた。 ・季節に合わせた活動を行い、多くの親子に参加してもらえた。
●安心して子育てができるよう、未就園児と保護者に保育園を開放します。 ・異年齢の交流、親同士が交流をしながら安心して遊ぶことのできる場、子育て情報の提供を行います。 ・子育て相談について、関係機関との連携を図りながら、スムーズに対応します。		(今後の取り組み・改善策) ・未就園児の保護者が、今後安心して子どもを預けることができるように、保育園の魅力が伝わる活動を行っていく。 ・子ども同士だけでなく、親同士の交流の場として気軽に出かけてもらえる環境を整える。

第6章 みんなで支え合い 子どもたちを育てていく

(今後の取り組み・改善策) ・利用者が多い日には、園内で人員の調整を行うなどして受け入れを行い、今後も未就園児の保護者が、気軽に利用できる体制を取っていく。					(今後の取り組み・改善策)	
H26 基準値	H28 実績値	H29 実績値	H30 実績値	H31 実績値	H31 目標値	目標値の説明
295	182	249	472		375	子ども・子育て支援事業計画に基づいた数値とします。
(達成状況・課題) ・「おひさまはるる」に委託した病児保育を利用した人数は、23人だった。病後児の利用は、2人(骨折)だった。 病後児を受け入れるため、期間限定で職員異動を行い対応した。					進捗状況 (達成状況・課題) ◎ ・「おひさまはるる」に委託した病児保育を利用した人数は、11人だった。病後児の利用は、1人(骨折)だった。	
(今後の取り組み・改善策) ・医師の診断に基づき、適切な対応を行う。					(今後の取り組み・改善策)	
(達成状況・課題) ・就労が理由で利用する保護者が増加し、29年度208人の利用となった。					進捗状況 (達成状況・課題) ◎ ・就労が理由で利用する保護者が増加し、30年度201人の利用となった。	
(今後の取り組み・改善策) ・休日保育には、延長・正規・臨時職員が順番で対応している。今後は、協力してもらえるパート職員にも当番を広げ、職員体制を整え対応していく。					(今後の取り組み・改善策)	
H26 基準値	H28 実績値	H29 実績値	H30 実績値	H31 実績値	H31 目標値	目標値の説明
133	193	203	201		150	現状の数値に増加傾向にあるニーズ対応分を見込みます。
(達成状況・課題) ・地域の方に協力いただき、野菜の栽培・収穫体験を全園で実施した。自分たちで栽培した野菜を使ったクッキング体験を行うことができた。					進捗状況 (達成状況・課題) ◎ ・地域の方に協力いただき、野菜の栽培・収穫体験を全園で実施した。自分たちで栽培した野菜を使ったクッキング体験を行うことができた。 ・8月に開催された「食育のつどい」で保育園の食育活動について発表した。	
(今後の取り組み・改善策) ・年間食育計画や新保育所保育指針に関連した食育活動を計画的に行っていく。					(今後の取り組み・改善策)	
(達成状況・課題) ・地域のお年寄りの会、デイサービス、コミュカフェ、小学生、中学生、高校生などとの交流を、各園で行う事ができた。 ・各地域の文化祭や演芸祭に参加し、発表をすることが出来た。 ・福与では、そば打ちやよもぎ団子づくりなど地域の皆さんに教わりながら体験することができた。					進捗状況 (達成状況・課題) ◎ ・地域のお年寄りの会、デイサービス、コミュカフェ、小学生、中学生、高校生などとの交流を、各園で行う事ができた。 ・各地域の文化祭や演芸祭に参加し、発表をすることが出来た。	
(今後の取り組み・改善策) ・今後も地域の方と可能な限り交流する機会ができるように、保育園から発信していく。 ・保育体験や実習の受け入れ、学校等との交流も行き、幅広い年代の方達と関われる機会を作る。					(今後の取り組み・改善策)	
(達成状況・課題) ・各園で年間計画を作成し、未就園児と園児が交流しながら活動することができた。 ・季節に合った活動を計画し、多くの親子に参加してもらえた。					進捗状況 (達成状況・課題) ◎ ・各園で年間計画を作成し、未就園児と園児が交流しながら活動することができた。 ・季節に合った活動を計画し、多くの親子に参加してもらえた。	
(今後の取り組み・改善策) ・園ごとで活動を考え、保護者が選んで来園できるようにする。 ・子どもだけでなく、親同士の交流の場として気軽に出かけてもらえる場所、また、子育てについて相談しやすい場所になるよう環境を整える。					(今後の取り組み・改善策)	
					基本事業の成果指標	
					A	
					園毎に地域の皆さんとの交流、また園開放日に来園する未就園児と保護者との交流を積極的に行う事が出来た。	
					次期計画の方向性	
					維持継続	
					今後も、地域に愛される保育園を目指し、積極的に交流を行っていく。	

第6章 みんなで支え合い 子どもたちを育んでいく

<p>③保育施設の整備</p>	<p>[01]保育園施設整備の推進</p> <p>●子ども達のがのびのびと遊ぶことができる保育環境を提供するため、施設整備を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・双葉保育園・名子中央保育園の芝生管理を行います。 ・保育施設の状況により、必要な整備を行います。 ・乳児保育に対応するための設備の検討を行います。 ・保育園へのエアコン設置を実施します。 	<p>こども課 保育園係</p>	<p>(達成状況・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・双葉保育園、名子中央保育園の芝生管理を行った。 ・未満児増加に対応するため、大島保育園0.1歳児・福与保育園2歳児を受け入れする施設整備を行った。 ・全園にエアコンを設置するため、設計業務を行った。 <p>(今後の取り組み・改善策)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・双葉保育園の芝生について、対応を再度検討する。 ・29年度より、大島保育園0.1歳児の受入を行う(福与は希望者なし)。 ・全園エアコン設置の為工事を行う(名子中央以外4園)
<p>(4) 障がい児へのきめ細やかな対応</p>			
<p>①障がい児へのきめ細かな対応</p>	<p>[01]支援を必要とする児童生徒への教育的支援</p> <p>●発達障がい等の児童生徒に対する学校生活上の介助、学習指導上の支援等を行うため、小学校および中学校へ教育支援員を配置します。</p>	<p>こども課 学校教育係</p>	<p>(達成状況・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援が必要な児童生徒に対し、引き続き中央小6名、北小2名、中学校2名の教育支援員を配置し支援を行った。また、松川町児童生徒就学相談委員会を9回開催し、対象児童への就学相談を行った。 <p>(今後の取り組み・改善策)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援を必要とする児童生徒が増大しつつあり、支援体制を整えるために支援員を配置していく必要がある。
	<p>[02]障がい児保育事業</p> <p>●集団生活が可能な比較的軽度の障がいのある児童の保育ニーズに対応するため、障がい児保育を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施園:全園 ・加配保育士を配置し、個別支援計画に基づき個々にあった支援を行います。 ・心理士、作業療法士の保育園巡回、支援会議を定期的に行います。 ・保小中特別支援委員会、来入児支援会議等において関係機関との連携を図ります。 ・障がい児支援研修等を行い、保育士のスキルアップを図ります。 	<p>こども課 保育園係</p>	<p>(達成状況・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援が必要な子どもの対応を、個別支援計画に基づき加配保育士が担当した。 ・心理士が保育園を巡回し、それにより保護者との面談等を行った。 ・保小連携し、就学する際の情報等の共有を行った。 ・保育士のスキルアップを目的に、飯田養護学校教諭による「障がい児支援研修」を行った。 <p>(今後の取り組み・改善策)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も、職員全員を対象に「障がい児支援研修」を行っていく。 ・支援が必要な子どもが、安心して生活できる場所が提供できるように、園ごと検討を重ねていく。 ・保小連携して、お互いに参観したり情報交換を行い、情報を共有していく。
	<p>[03]障がい児福祉サービスの提供</p> <p>●障がい児の生活を支援するため、障害区分に応じた自立支援サービスの提供と、相談支援を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい児の地域生活を支援するため、児童ディサービス・短期入所等のサービスを提供します。 	<p>保健福祉課 福祉係</p>	<p>(達成状況・課題)</p> <p>障がい児の支援計画の相談に応じ、児童に合った放課後デイサービスや施設通所等のサービスを提供している。(サービス回数349件、給付額31,308千円)</p> <p>(今後の取り組み・改善策)</p> <p>障がい児福祉サービスにおいても入所施設が足りないため、在宅において複数のサービス、事業所の併用により家庭での看護の負担を軽減している。一方、これにより支援者1世帯あたりの給付単価は年々増大しており、今後サービスの合理化効率化の検討が求められる。</p>
	<p>[04]障害児福祉手当の支給</p> <p>●重度障がい児の福祉の増進を図るため、障害児福祉手当の申請受付および窓口相談による支援を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重度障がい児および家族の在宅介護の負担軽減を図るため対象となりうる児童と家族に制度を照会し、面接により手当の申請を指導します。 	<p>保健福祉課 福祉係</p>	<p>(達成状況・課題)</p> <p>障害児福祉手当について、給付実績はなかった。</p> <p>(今後の取り組み・改善策)</p> <p>町ホームページ、広報等において制度の周知を図っていく。</p>
	<p>[05]特別支援教育就学奨励費の支給</p> <p>●保護者の経済的負担を軽減するため、小学校・中学校の特別支援学級に在籍する児童生徒の学用品費や給食費など、その一部に就学奨励費を支給します。</p>	<p>こども課 学校教育係</p>	<p>(達成状況・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小・中学生の対象者(39名)に学用品、給食費、就学旅行費(7名)、新入学用品費(13名)の支給を行った。 <p>(今後の取り組み・改善策)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国の補助基準に準じ、今後も継続して実施する。

第6章 みんなで支え合い 子どもたちを育てていく

<p>(達成状況・課題) ・これまでの管理業者を変更し、双葉保育園、名子中央保育園の芝生管理を行った。 ・全園(名子中央以外)でエアコン設置工事を行った。</p>	<p>進捗状況 (達成状況・課題) ・双葉保育園、名子中央保育園の芝生管理を行った。 ・福与保育園で2歳児の受入を行った。</p>	<p>基本事業の成果指標 A ・双葉、名子中央共に業者へ委託し芝生管理を行った。 ・大島及び福与保育園で未満児受入れの拡大を行い、受け入れ人数を増やすことが出来た。 ・全園にエアコンを設置することが出来た</p>
<p>(今後の取り組み・改善策) ・引き続き、双葉保育園、名子中央保育園の芝生管理を行う。 ・福与保育園で2歳児の受入を行う。</p>	<p>(今後の取り組み・改善策)</p>	<p>次期計画の方向性 維持継続 ・老朽化により、修繕が必要な箇所が出てきている。修繕を行い保育に支障が出ない対応をとる。 ・老朽化が進んでいる双葉保育園の改修について検討していく。</p>
<p>(達成状況・課題) ・29年度、支援が必要な児童生徒に対し、中央小5名、北小2名、中学校1名の教育支援員を配置し支援を行った(他に中央小に算数指導員2名を配置した)。また、松川町児童生徒就学相談委員会を9回開催し、対象児童への就学相談を行った。</p>	<p>進捗状況 (達成状況・課題) ・30年度、支援が必要な児童生徒に対し、中央小6名、北小2名、中学校2名の教育支援員を配置し支援を行った(他に中央小に算数指導員2名を配置した)。また、松川町児童生徒就学相談委員会を9回開催し、対象児童への就学相談を行った。</p>	<p>基本事業の成果指標 以下のとおり 【こども課:A】 ・(学校教育)支援が必要な児童生徒のため特別教育支援専門員を町で配置した。 ・(保育園)個別支援計画に基づき保育を行った。加配保育士を配置し、支援を行った</p>
<p>(今後の取り組み・改善策) ・支援を必要とする児童生徒が増大しつつあり、支援体制を整えるために支援員を配置していく必要がある。</p>	<p>(今後の取り組み・改善策)</p>	<p>【保健福祉課:A】 障がい児の生活支援、居場所として放課後デイサービスや児童発達支援サービスを各事業所や子ども発達支援センターひまわりと連携、また経済面では障害児福祉手当事務、サービス利用負担額の補助、ひまわりへの通所交通費の補助を行うことで、障がい児(者)の社会参加等を自立に向けた支援をした。</p>
<p>(達成状況・課題) ・支援が必要な子どもの対応を、個別支援計画に基づき加配保育士が担当した。 ・心理士が保育園を巡回し、それにより保護者との面談等を行った。 ・保小連携し、就学する際の情報等の共有を行った。 ・保育士のスキルアップを目的に、飯田養護学校教諭による「障がい児支援研修」を行った。</p>	<p>進捗状況 (達成状況・課題) ・支援が必要な子どもの対応を、個別支援計画に基づき加配保育士が担当した。 ・心理士が保育園を巡回し、それにより保護者との面談等を行った。 ・保小連携し、就学する際の情報等の共有を行った。 ・保育士のスキルアップを目的に、講師による研修会を行った。</p>	<p>【こども課:維持継続】 ・(学校教育)支援が必要な児童生徒のため特別教育支援専門員を町で配置した。 ・(保育園)個別支援計画に基づき保育を行った。加配保育士を配置し、支援を行った。</p>
<p>(今後の取り組み・改善策) ・今後も、職員全員を対象に「障がい児支援研修」を行っていく。 ・支援が必要な子どもが、安心して生活できる場所が提供できるように、園ごと検討を重ねていく。また子どもの成長に合わせ、加配を見直し、場合によっては担当をはずす等対応していく。 ・保小連携し、参観・情報交換を行い、情報を共有していく。</p>	<p>(今後の取り組み・改善策)</p>	<p>次期計画の方向性 以下のとおり 【こども課:維持継続】 ・(学校教育)支援が必要な児童生徒のため特別教育支援専門員を町で配置した。 ・(保育園)個別支援計画に基づき保育を行った。加配保育士を配置し、支援を行った。</p>
<p>(達成状況・課題) 障がい児の支援計画の相談に応じ、児童に合った放課後デイサービスや施設通所等のサービスを提供している(サービス回数401件、給付額40,800千円)。</p>	<p>進捗状況 (達成状況・課題) 障がい児の支援計画の相談に応じ、児童に合った放課後等デイサービスや施設通所等のサービスを提供した(サービス回数述べ400件、給付額38,610千円)。</p>	<p>【保健福祉課:継続維持】 本人、家族の相談に応じ、適切なサービス提供に繋げる。障害児福祉手当は県と連携を取りながら給付に繋げることにより、経済的な支援を行う。</p>
<p>(今後の取り組み・改善策) 児童発達支援サービスの利用者が増加しているため、今後お子さんや家庭の支援方法などを保健師や「こども発達センターひまわり」などの関係機関と連携し、子どもの将来を見据えた支援を行う。</p>	<p>(今後の取り組み・改善策)</p>	
<p>(達成状況・課題) 新規1件、住所変更1件に対応し、給付に繋がった。</p>	<p>進捗状況 (達成状況・課題) 新規1件申請したが、却下となった。現在6件手当給付中。</p>	
<p>(今後の取り組み・改善策) 町ホームページ、広報等において制度の周知を図っていく。また保健師とも連携を取り、対象となる児童と家族に制度を周知していく。</p>	<p>(今後の取り組み・改善策)</p>	
<p>(達成状況・課題) ・29年度、小・中学生の対象者(45名)に学用品、給食費、就学旅行費(11名)、新入学用品費(7名)の支給を行った。</p>	<p>進捗状況 (達成状況・課題) ・特別支援学級に在籍する小学生24名、中学生19名に特別支援教育就学奨励費の支給を行い、保護者の経済的負担の軽減を行った。</p>	
<p>(今後の取り組み・改善策) ・国の補助基準に準じ、今後も継続して実施する。</p>	<p>(今後の取り組み・改善策)</p>	

第6章 みんなで支え合い 子どもたちを育んでいく

第3項 郷土に誇りをもてる人づくり(学校教育)			
基本事業	事業の内容	担当課係名	平成28年度評価
(1) 知・徳・体(食)の調和がとれた学校教育の推進			
①松川町教育会議	[01]キャリア教育(多様な体験活動の充実) ●児童生徒等に勤労観や職業観を育成するため、 民間学との連携によるキャリア教育を実施します。 ・中学校での職場体験学習を実施します。 ・中学生の志願者によるチャレンジショップ(起業体験)を実施します。 ・中学生ボランティア活動を推進します。	こども課 学校教育係	(達成状況・課題) ・3年生は農業体験、2年生は松中トライやる(夏休み7/12～7/14)で職場体験学習を実施した。 ・起業体験「チャレンジショップ」を11月に実施。2年生が19名が参加した。 ・社会福祉協議会と連携しボランティア体験事業(ニコボラ)を実施している。 ※ニコボラ=社協を通じてボランティアを行うとボランティアカードに記録、5回参加すると活動証明書を発行。以降5回増えるごとにステージが上がっていく仕組み。 (今後の取り組み・改善策) ・活動の周知を行っていく。 ・「地域から学校」「学校から地域」の流れを作っていく。
	[02]松川町子ども支援連絡会 ●学校生活への適応困難な児童生徒を支援するため、 保育園・小学校・中学校で連携した支援会議を開催し、適切な支援に取組みます。 ・不適応傾向の児童生徒の追跡調査を行い、教育の進め方や理解を深めるための情報交換を行います。 ・いじめ防止、学校安全等に関する相談・支援を行います。	こども課 学校教育係	(達成状況・課題) ・会議を5回実施し、全ての回において個別の支援策の検討を行った。 ・「不登校親の会」を毎月第3週の水曜日に開催(年間9回、延べ参加者67名)。 ・不適応・不登校児童生徒の学習指導を「えみりあ」内、教育相談室にて延べ141回の指導を実施した。 (今後の取り組み・改善策) ・不適応傾向の児童生徒は増加傾向にあり、引き続き支援を行っていく。
	[03]松川町健康教育会議 ●子どもの健全な心身の発達を促すため、 松川町健康会議を開催し、保育園・小学校・中学校が連携した保健指導や食の指導を行います。 ・小学校5年生と中学校2年生に血液検査を実施し、「生活習慣病」の予防について、継続した保健指導を行います。	こども課 学校教育係	(達成状況・課題) ・会議を年間5回実施し、学校・保育園・保健師・日赤病院で情報の共有、交換を行った。 ・小学5年生、中学2年生に血液検査を実施、保健指導の資料として活用した。 ・保健師による学校での血液に関する授業の実施。・保育園での食生活アンケートを実施した。 (今後の取り組み・改善策) 小中学校において引き続き血液検査を行い、経年変化を追跡し、健康指導に役立てていく。
	[04]松川町学力向上委員会 ●子どもの学力を向上させるため、 小学校、中学校および学習支援講師連携による実践研究組織として学力向上委員会を開催します。 ・家庭学習の習慣化を図ります。 ・てらこや事業を実施し、基礎基本の確実な定着と伸びる力を一層伸ばす学習支援を行います。	こども課 学校教育係	(達成状況・課題) ・年間5回の会議を開催し、家庭学習の有り方を検討した。 ・学校間で互いの授業を参観し、授業の要点などを確認し、授業向上のきっかけとした。 ・全国学力テスト等の結果を参考に学校での取り組み目標を立てている。 (今後の取り組み・改善策) 継続して開催し、子どもの学力向上につなげていく。
	[05]松川町特別支援学級担任者会 ● 保育園、小学校および中学校における障がいや精神的に不安定な子どもたちの就学を支援するため、松川町特別支援学級担任者会を開催します。 ・個別の支援計画、指導計画を作成管理し、子どもの理解や情報交換を行います。 ・松川町児童生徒就学相談委員会と連携し、情報の共有を図ります。	こども課 学校教育係	(達成状況・課題) ・年間4回の会議を実施し、各学校の特別支援に関する情報交換を行った。 ・個人ファイルの保存の在り方を明確にすることができた。 ・小中高の連携を考える機会を得た。(高校での様子から小中での教育のあり方。) (今後の取り組み・改善策) ・引き続き開催を行い、自立活動についての各校情報交換を行っていく。 ・特別支援連携マップの見直しを行っていく。

第6章 みんなで支え合い 子どもたちを育てていく

平成29年度評価	平成30年度評価	総括評価
<p>(達成状況・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3年生は農業体験、2年生は松中トライやる(夏休み7/11～7/13)で職場体験学習を実施した。 ・起業体験「チャレンジジョブ」を9月に実施し、2年生9名が参加した。 ・社会福祉協議会と連携し中学生によるボランティア体験事業(ニコボラ)を実施した。 	<p>進捗状況 (達成状況・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3年生は農業体験、2年生は松中トライやる(夏休み7/9～7/11)で職場体験学習を実施した。 ・起業体験「チャレンジジョブ」は今年度より廃止となった。 ・社会福祉協議会と連携し中学生によるボランティア体験事業(ニコボラ)を実施した。(延べ参加人数173名) 	<p>基本事業の成果指標</p> <p style="text-align: center;">A</p> <p>中学校において職場体験などのキャリア教育を行った。また、「教育相談室」において学校生活への不適応傾向の児童生徒等に対し支援を行った。 小学校5年、中学校2年在学時の血液検査を継続することにより町内の児童生徒の健康状況の推移が記録され、保健指導の資料として活用している。</p>
<p>(今後の取り組み・改善策)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動の周知を行っていく。 ・引き続き「地域から学校」「学校から地域」の流れを作っていく。 	<p>(今後の取り組み・改善策)</p>	
<p>(達成状況・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議を5回実施し、全ての回において個別の支援策の検討を行った。 ・「不登校親の会」を毎月第3週の水曜日に開催した(年間10回、延べ参加者64名)。 ・不適応・不登校児童生徒の学習指導を「えみりあ」内、教育相談室にて延べ183回の指導を実施した。 	<p>進捗状況 (達成状況・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議を5回実施し、全ての回において個別の支援策の検討を行った。 ・「不登校親の会」を毎月第3週の水曜日に開催した(年間10回、保護者の延べ参加者72名)。 ・不適応・不登校児童生徒の学習指導を「えみりあ」内、教育相談室にて延べ94回の指導を実施した。 	
<p>(今後の取り組み・改善策)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不適応傾向の児童生徒は増加傾向にあり、引き続き支援を行っていく。 	<p>(今後の取り組み・改善策)</p>	<p>次期計画の方向性</p> <p style="text-align: center;">縮小・廃止</p> <p>中学校の起業体験は中止したが、他の松中トライアル、ニコボラの事業は継続し実施する。また、学力向上委員会、特別支援学級担任者会はH30年度をもって中止する。(健康教育会議は体制を改め、継続)</p>
<p>(達成状況・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議を年間5回実施し、学校・保育園・保健師情報の共有、交換を行った。 ・小学5年生、中学2年生に血液検査を実施、保健指導の資料として活用した。 ・保健師による学校での血液に関する授業を実施した。 	<p>進捗状況 (達成状況・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議を年間5回実施し、学校・保育園・保健師情報の共有、交換を行った。 ・小学5年生、中学2年生に血液検査を実施、保健指導の資料として活用した。 ・保健師による学校での血液に関する授業を実施した。 	
<p>(今後の取り組み・改善策)</p> <p>今後も小中学校において引き続き血液検査を行い、経年変化を追跡し、健康指導に役立てていく。</p>	<p>(今後の取り組み・改善策)</p>	
<p>(達成状況・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間5回の会議を開催し、家庭学習の有り方を検討した。 ・学校間で互いの授業を参観し、授業の要点などを確認し、授業向上のきっかけとした。 	<p>進捗状況 (達成状況・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間5回の会議を開催し、家庭学習の有り方を検討した。 ・学校間で互いの授業を参観し、授業の要点などの確認を続けている。 	
<p>(今後の取り組み・改善策)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続して開催し、子どもの学力向上につなげていく。 ・全国学力テスト等の結果を参考に学校での取り組みを考えていく。 	<p>(今後の取り組み・改善策)</p>	
<p>(達成状況・課題)</p> <p>年間5回の会議を実施し、各学校の特別支援に関する情報交換を行った。</p>	<p>進捗状況 (達成状況・課題)</p> <p>年間5回の会議を実施し、各学校の特別支援に関する情報交換を行った。</p>	
<p>(今後の取り組み・改善策)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き開催を行い、自立活動についての各校情報交換を行う。 ・特別支援連携マップの見直しを行っていく。 ・引き続き小中高の連携を考えていく。 	<p>(今後の取り組み・改善策)</p>	

第6章 みんなで支え合い 子どもたちを育んでいく

②教育内容の充実	【01】きめ細かな指導の充実 ●個に応じたきめ細かな指導を推進するため、小学校、中学校において地域人材講師を活用した学習支援を行います。 ・水曜日と夏休みに中学生へ英語・数学の指導を行う「てらこや松中」を開講します。 ・小学校向け「テレビてらこや」を放映します。	こども課 学校教育係	(達成状況・課題) 地域未来塾「てらこや松中」事業を実施。水曜で てらこや684人、夏のてらこや206人、冬のてらこや 143名が受講した。(延べ受講者数)
			(今後の取り組み・改善策) 学校との連携も深まり好評。来年度以降も継続して実施する。
	【02】小学校、中学校における外国語教育の推進 ●外国語教育を実施するため、ALT(外国語指導助手)による小学校、中学校での指導を行います。	こども課 学校教育係	(達成状況・課題) 9月にALTが交代した。前任者同様、町内学校を巡回し指導を行っている。また、社会教育活動として英会話教育で講師として活動している。
		(今後の取り組み・改善策) 契約の更改を行い、引き続き指導をお願いしていく。	
	【03】地産地消事業(地元産給食実施) ●児童生徒が、地元生産者を知ることにより、地元産の農産物に興味を持ち、食育を学ぶ機会とするため、地元食材を使った給食を実施します。 ・地元産米を使用した米飯給食、地元生産者が生乳供給する牛乳を継続実施します。 ・地元生産者と連携し、学校給食に地元産食材の利用を進めます。	こども課 学校教育係	(達成状況・課題) ・食育・地産地消を目的とし、町内3校の給食牛乳について、地元生産者が生乳供給する牛乳工場からの調達している。また、地元産米飯給食を継続実施している。 ・納入業者を通じて供給可能な食材について地元食材の活用にも努めている。
		(今後の取り組み・改善策) 引き続き、地元産食材の利用について研究していく。	
③思春期保健対策	【01】喫煙や薬物等に関する教育 ●喫煙や薬物に対する知識の普及・啓発を図るため、その害について教育指導を行います。 ・情報提供の充実を図ります。 ・小学校、中学校で外部講師を活用した授業を実施します。	こども課 学校教育係	(達成状況・課題) 薬物乱用防止ポスター等を防止週間にあわせ各学校へ配布した。
			(今後の取り組み・改善策) 学校と連携し、効果的な情報提供を進めていく。
	【02】性に関する健全な知識の普及 ●性に関する健全な知識を養い育てるために、各学年に合わせた性教育を行い、理解を深められるようにします。 ・保健師や医療機関と連携し、「命の誕生・命の大切さ」等をテーマに児童生徒の発達段階に応じた指導を行います。	こども課 学校教育係	(達成状況・課題) ・中央小学校、北小学校にて性に関する年間指導計画を作成。中学校では性に関する指導委員会を設けている。 ・それぞれ学校で性に関する指導の手引きに従い、保健体育や特別活動において授業を行った。
		(今後の取り組み・改善策) 保健師等との連携を考えていく。	
	【03】メディアリテラシーに関する知識の普及 ●有害サイトによる犯罪被害やトラブル、学校非公式サイトによるいじめ等から、子どもたちを守るため、情報機器に関する知識の普及を進めます。 ・児童、生徒、保護者、教職員を対象に、情報モラルに関する研修を実施します。 ・情報提供の充実を図ります。 ・スマートフォン時代に対応した保護策と教育・啓発を行います。	こども課 学校教育係	(達成状況・課題) 松川中学校において、職員及び全校生徒対象にインターネットの危険性について講演を行っている。・教育懇談会の議題に取り上げ、「我が家のネットルール」を作成、小中学生の家庭に配布を行った。
		(今後の取り組み・改善策) スマホなどインターネットに接続できる携帯機器の普及が進み、小学生からの所有率も上がっており与える保護者への啓発活動が必要。	

第6章 みんなで支え合い 子どもたちを育てていく

<p>(達成状況・課題) 地域未来塾「てらこや松中」事業を実施した。水曜 てらこや1,214人、夏のてらこや57人、冬のてらこや 142人が受講した。(延べ受講者数) 夏のてらこやについては、高校体験の時期と重なり、減少してしまっ た。</p>	<p>進捗状況 (達成状況・課題) ○ 地域未来塾「てらこや松中」事業を実施し た。水曜てらこや1,329人、夏のてらこや 133人、冬のてらこや177人が受講した。 (延べ受講者数)</p>	<p>基本事業の成果指標 A 中学校において地域の人材を講師とし、生徒の 学力にあわせた学習支援(指導)を行った。また、ALTの配置等により外国語(英語)教育の 推進を行うことができた。</p>	
<p>(今後の取り組み・改善策) 学校との連携も深まり好評であるので、継続して実 施する。</p>	<p>(今後の取り組み・改善策)</p>		
<p>(達成状況・課題) ALTを配置し、町内学校を巡回し指導を行った。ま た、社会教育活動として英会話やスペイン語教育 で講師として活動している。</p>	<p>進捗状況 (達成状況・課題) ○ ALTを配置し、町内学校を巡回し指導を 行った。また、社会教育活動として英会話 やスペイン語教育で講師として活動して いる。</p>	<p>次期計画の方向性 維持継続</p>	
<p>(今後の取り組み・改善策) 契約の更改を行い、引き続き指導をお願いしてい く。</p>	<p>(今後の取り組み・改善策)</p>		
<p>(達成状況・課題) ・町内3校の給食牛乳について、地元生産者が生 乳供給する牛乳工場から調達している。また、地元 産米飯給食を継続実施している。 ・納入業者を通じて供給可能な食材について地元 食材の活用に努めている。</p>	<p>進捗状況 (達成状況・課題) ○ ・町内3校の給食牛乳について、地元生 産者が生乳供給する牛乳工場から調達し ている。また、地元産米飯給食を継続実 施している。 ・納入業者を通じて供給可能な食材につ いて地元食材の活用に努めている。</p>	<p>英語教育について小学校での授業化に向けて 前倒しで取り組んでおり、英検受験について補 助金制度を設けるなど更に充実していく必要が ある。また、学校での食育を通じ地産地消への PRを進めていく。</p>	
<p>(今後の取り組み・改善策) 引き続き、地元産食材の利用について研究してい く。</p>	<p>(今後の取り組み・改善策)</p>		
<p>(達成状況・課題) 例年に倣い、薬物乱用防止ポスター等を防止週間 にあわせ各学校へ配布した。</p>	<p>進捗状況 (達成状況・課題) ○ 例年に倣い、薬物乱用防止ポスター等を 防止週間にあわせ各学校へ配布した。</p>	<p>基本事業の成果指標 A 各学校において青少年として健全な育成に不 可欠な、薬物・性・メディアなどに対する知識の 普及、教育をおこなった。</p>	
<p>(今後の取り組み・改善策) 引き続き学校と連携し、効果的な情報提供を進め ていく。</p>	<p>(今後の取り組み・改善策)</p>		
<p>(達成状況・課題) ・中央小学校、北小学校にて性に関する年間指導 計画を作成した。中学校では性に関する指導委員 会を設けている。 ・それぞれ学校で「性に関する指導の手引き」に従 い、保健体育や特別活動において授業を設けた。</p>	<p>進捗状況 (達成状況・課題) ○ ・中央小学校、北小学校にて性に関する 年間指導計画を作成した。中学校では性 に関する指導委員会を設けている。 ・それぞれ学校で「性に関する指導の手 引き」に従い、保健体育や特別活動にお いて授業を設けた。</p>	<p>次期計画の方向性 維持継続</p>	
<p>(今後の取り組み・改善策) 保健師等との連携を検討していく。</p>	<p>(今後の取り組み・改善策)</p>		
<p>(達成状況・課題) 松川中学校において、職員及び全校生徒対象にイ ンターネットの危険性について講演を行っている。</p>	<p>進捗状況 (達成状況・課題) ○ 松川中学校において、職員及び全校生 徒を対象にインターネットの危険性につ いて講演を行った。</p>	<p>各学校において、児童生徒の健全育成に必要 な教育、普及を引き続き実施する必要がある。</p>	
<p>(今後の取り組み・改善策) スマホなどインターネットに接続できる携帯機器の 普及が進み、一層の啓発活動が必要である。</p>	<p>(今後の取り組み・改善策)</p>		

第6章 みんなで支え合い 子どもたちを育んでいく

④子どもの安全を守る活動	【01】「子どもを守る安心の家」の推進事業 ●登下校時の安全を確保するため、緊急避難先として、通学路沿いの家庭等に「子どもを守る安心の家」への加入を依頼します。 ・警察、学校と連携し、安心の家の加入と地域の啓発活動の普及拡大を進めます。	こども課 学校教育係	(達成状況・課題) ・子ども見守り隊・安全推進協議会の青パトなど各団体によるパトロールの実施。 ・PTAが通学路点検、危険箇所点検を実施。 ・安心の家による地域見守り活動を継続。				
			(今後の取り組み・改善策) 警察、学校と連携し、安心の家の加入と地域の啓発活動の普及拡大を進める。				
		<table border="1"> <tr> <th>目標指標</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>子どもを守る安心の家登録数</td> <td>件</td> </tr> </table>	目標指標	単位	子どもを守る安心の家登録数	件	
目標指標	単位						
子どもを守る安心の家登録数	件						
	【02】教職員防犯講習の実施 ●不審者に対する対処手法を取得するため、教職員・保育園職員への防犯講習、訓練、不審者対応の講話および実技指導を実施します。 ・対策マニュアルによる防犯対策の意識啓発を実施します。 ・防犯実地講習会(実技指導)を実施します。	こども課 学校教育係	(達成状況・課題) ・各校が、対策マニュアルによる防犯対策の意識啓発を実施した。 ・中学校では職員・生徒を対象に危機回避訓練を実施した。				
			(今後の取り組み・改善策) 警察と連携し、防犯講習等を充実していく。				
	【03】緊急時メール発信システムの活用 ●保護者との連携を図るため、保育園、小学校、中学校の連絡情報・緊急情報を発信します。 ・非常時の情報提供を行います。(有害鳥獣への安全対策・インフルエンザによる学級閉鎖情報等)	こども課 学校教育係	(達成状況・課題) メール配信システムにより、非常時の情報提供を行った。(有害鳥獣への安全対策・インフルエンザによる注意喚起・台風情報等)				
			(今後の取り組み・改善策) 時期を失することなくメールの配信を行っていく必要がある。				
⑤学校施設整備	【01】学校施設の耐震化の実施 ●安全・安心な学校施設の整備を図るため、構造体、非構造部材の点検、耐震対策を実施します。 ・中学校給食棟の改修改築工事を計画し、耐震化を図ります。	こども課 学校教育係	(達成状況・課題) ・校舎は平成23年度までに実施済み。 ・中学校給食棟改築に向け実施設計を行った。				
			(今後の取り組み・改善策) 来年度、中学校給食棟改築工事を行う。				
		<table border="1"> <tr> <th>目標指標</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>学校施設耐震化率</td> <td>%</td> </tr> </table>	目標指標	単位	学校施設耐震化率	%	
	目標指標	単位					
学校施設耐震化率	%						
	【02】学校施設の老朽化対策 ●教育面や安全面、機能面での適切な整備を行うため、改修等の時期や規模を定めた整備計画の策定を進めます。 ・施設の劣化状況、教育内容への適応状況を把握し、計画的な予防保全、整備方針を示します。(個々の施設の老朽化を把握し、いつどのような改修や改築、維持管理を行うか検討します)	こども課 学校教育係	(達成状況・課題) ・個別の建物(施設)長寿命化計画策定の情報を収集した。(業者委託の場合の参考見積等)				
			(今後の取り組み・改善策) ・平成31年度を目途に文部科学省の指針に基づく学校施設の長寿命化計画策定に向けて検討をしていく。				
	【03】学校施設環境の充実 ●学習環境の向上のため、小中学校施設の充実に取り組む。 ・学習内容や方法の変化、社会状況や環境の変化に求められる学校施設の機能向上を進めます。	こども課 学校教育係	(達成状況・課題) 夏季の学習環境の実態を把握するために中学校で教室温度推移の記録を行った。				
			(今後の取り組み・改善策) 学校施設環境改善交付金などの補助事業を用いた普通教室へのエアコン整備を研究していく。				
	【04】ICT環境の充実 ●確かな学力をより効果的に育成するため、学校と連携しICTを活用した授業に対応する情報機器の整備を進めます。 ・普通教室における無線LANの利活用、電子黒板、タブレットPCの計画的な整備を進めます。	こども課 学校教育係	(達成状況・課題) 中学校において、地域未来塾の補助事業を用い40台のタブレット端末を整備、更にふるさと応援基金により30台のタブレット端末を追加し、70台を整備した。(電子黒板も1台導入)				
			(今後の取り組み・改善策) 来年度以降、小学校でのICT環境を整備を行っていく。				

第6章 みんなで支え合い 子どもたちを育てていく

(達成状況・課題) ・子ども見守り隊・安全推進協議会の青パトなど各団体によるパトロールを実施した。 ・PTAが通学路点検、危険箇所の点検を実施。 ・安心の家による地域見守活動を継続。					進捗状況 ○	(達成状況・課題) ・子ども見守り隊・安全推進協議会の青パトなど各団体によるパトロールを実施した。 ・PTAが通学路点検、危険箇所の点検を実施した。 ・安心の家による地域見守活動を継続。 中央小94件、北小11件	基本事業の成果指標 A 各学校を中心に地域にあった児童生徒の危険予防・防犯対策への取り組みを行っている。メール配信システムの積極的な活用を行った。
(今後の取り組み・改善策) 警察、学校と連携し、安心の家の加入と地域の啓発活動の普及を進める。					(今後の取り組み・改善策)		
H26	H28	H29	H30	H31	H31	目標値の説明	
基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値		
109	108	108	105		119	毎年2件の増を見込みます。	
(達成状況・課題) 各校が、対策マニュアルによる防犯対策の意識啓発を実施した。					進捗状況 ○	(達成状況・課題) 各校が、対策マニュアルによる防犯対策の意識啓発を実施した。	次期計画の方向性 維持継続 「子どもを守る安心の家」登録数は頭打ち状態であり大きくは増えない状況であるが、登録した箇所については、周知を徹底していく必要がある。
(今後の取り組み・改善策) 警察と連携し、防犯講習等を充実していく。					(今後の取り組み・改善策)		
(達成状況・課題) メール配信システムにより、非常時の情報提供を行った。(有害鳥獣への安全対策・インフルエンザによる注意喚起・台風情報等)					進捗状況 ○	(達成状況・課題) メール配信システムにより、非常時の情報提供を行った。(有害鳥獣への安全対策・インフルエンザ等注意喚起・台風情報等)	
(今後の取り組み・改善策) 時期を失すことなくメールの配信を行っていく必要がある。またJアラート情報の補足も必要である。					(今後の取り組み・改善策)		
(達成状況・課題) ・校舎は平成23年度までに実施済み。 ・中学校給食棟改築を行った。					進捗状況 ◎	(達成状況・課題) 校舎は平成23年度までに実施済み。	基本事業の成果指標 A 学校校舎等建物について耐震化を実施した。ICT環境の充実、エアコン設置など学校環境施設の改善を行っている。
(今後の取り組み・改善策) 中学校校舎の大規模改修の検討を行う。					(今後の取り組み・改善策)		
H26	H28	H29	H30	H31	H31	目標値の説明	
基準値	実績値	実績値	見込み	実績値	目標値		
93	93	100	100		100	耐震診断結果に基づき、耐震化が必要な施設(1棟)の実施を見込みます。	
(達成状況・課題) ・個別の建物(施設)長寿命化計画策定の情報を収集した。(業者委託の場合の参考見積等)					進捗状況 ○	(達成状況・課題) 学校施設等長寿命化計画策定業務委託を発注し、建物の劣化状況の診断を行った。	
(今後の取り組み・改善策) ・平成30年度に文部科学省の指針に基づく学校施設の長寿命化計画策定を行っていく。					(今後の取り組み・改善策)		
(達成状況・課題) ・北小学校給食調理室及び会議室、中央小学校大会議室にエアコン整備を行った。 ・中央小の中庭整備など各学校からの要望により施設整備を行った。					進捗状況 ○	(達成状況・課題) ・各学校教室に国の補助金を用いエアコン整備を行いつつある。 ・各学校からの要望により修繕、整備を行った。	次期計画の方向性 維持継続 長寿命化計画の策定を進め、各学校の改修優先度を検討し、計画的に改修を行っていく。ICT環境の整備を進めつつ、その効果の検証を行う必要がある。
(今後の取り組み・改善策) ・長寿命化計画に合わせて普通教室へのエアコン設置を考えていく。 ・学校施設環境改善交付金などの補助事業を用いた普通教室へのエアコン整備を進めていく。					(今後の取り組み・改善策)		
(達成状況・課題) 小学校110台(中央小70台、北小40台)、中学校30台のタブレット端末を整備した。更に小学校に対し電子黒板を各校1台導入した。					進捗状況 ○	(達成状況・課題) 中学校に大型モニター8台、小学校に対し電子黒板を各校1台導入した。	
(今後の取り組み・改善策) ICT教育を実施し、検証を行っていく必要がある。					(今後の取り組み・改善策)		

第6章 みんなで支え合い 子どもたちを育んでいく

(2) 要保護児童への対応等きめ細やかな取り組みの推進			
① DV、児童虐待防止対策の推進	[01] DV、児童および高齢者の虐待防止対策の推進 ● DV や虐待の発生を予防するため、啓発および通報協力等の普及促進を行うとともに、事案が発生した場合は速やかに対応します。 ・噂や風評等の段階であっても担当地区の民生児童委員に確認を行う他、児童相談所、保健福祉事務所の相談員等と情報の交換を行います。 ・広報誌により住民にDV、虐待事案の通報協力をお願いします。 ・保護対象者(児童)の保護 ①住民票・戸籍附表の閲覧制限の手続き指導を行います。 ②各種手当の給付についてアドバイスします。 ③ DV・児童虐待案件は密接に関係していることから、子ども課や関係機関と連携し必要に応じて母子寮(一時保護)やシェルター等への避難誘導を図ります。	保健福祉課 福祉係	(達成状況・課題) DV相談案件は0件で、民生児童委員からの照会や、くらしの相談等への相談もなかった。DVについて被害者の自覚が遅れるケースが多く、早期発見、早期対応が求められる。 (今後の取り組み・改善策) DV事案は、水面下で進行していることが多く、今後も地域の民生児童委員や福祉推進委員からの通報等アンテナを高くしておくとともに、被害を察知した場合は女性相談所等と連携を密にして支援していく。
	[02] 要保護児童対策地域協議会の機能強化と発揮 ● 虐待等による要保護児童の早期発見や適切な保護を図るため、地域協議会の機能強化を図り、関係機関(児童相談所・民生児童委員等)との連携を取りながら適切な対応に努めます。 ・実態把握、個別ケース検討会議等を設け適切な対応に努めます。	こども課 こども係	(達成状況・課題) ・2月要対協開催。当町の事案について報告と情報の共有・連携・役割の確認をした。 ・「虐待予防研修」(講師:飯田見相所長)を行った。 ・関係機関と連絡を取り合い、必要に応じて支援会議を行った。 (今後の取り組み・改善策) ・2か月に一度、児相担当者と情報交換の場を設け、現状を把握し、早期対応ができるようにする。 ・引き続き関係機関と連携をとり、早期発見・早期対応に努める。
(3) 子どもの健全育成			
① 子どもの健全育成	[01] 子ども会等地域活動の支援 ● 子どもの多様な人間形成のため、地域の子どもの育成会活動に対して補助金による支援を行います。 ・各地区子ども会育成会への補助を行います。 ・子ども会のリーダーとして資質向上に繋がる研修会の内容、また各育成会活動事業の充実を図ります。	こども課 こども係	(達成状況・課題) ・8単位に対し補助金を交付。 ・育成会役員研修会、ジュニアリーダー研修会の開催。 (今後の取り組み・改善策) ジュニアリーダー研修会から「子ども会育成会交流研修会」と名称を改め、より多くの参加者を募る。
	[02] 社会を明るくする運動の推進 ● 非行や犯罪のない社会づくりを目的とし、次代を担う青少年が健全に育つ環境づくりに重点を置いた社会を明るくする運動を行います。 ・町、保護司、更生保護女性会、青少年健全育成関係団体が連携して「松川町社会を明るくする運動」を実施します。	保健福祉課 福祉係	(達成状況・課題) 「お互いあいさつを交わし合い地域のつながりを深めよう。」をスローガンに、町の保護司、更生保護女性会と共に小中学校において街頭あいさつ運動を行い、チラシを配布した。また、学童への啓発活動の一環として、県保護司会連合会が主催する長野県作文コンテストへの作文の応募を行っている。 (今後の取り組み・改善策) 本運動については、例年7月が強化月間であるが、活動内容に変化がなくマンネリ化が否めない。犯罪のない明るい社会の構築に向け、社会を明るくする運動準備会議等においてよりよい啓発活動を模索していく。
	[03] 青少年非行防止活動の推進 ● 有害環境から子どもたちを守るため、関係機関と協力し青少年による犯罪や非行の未然防止に努めます。 ・少年警察ボランティア、子ども会育成会連絡協議会と連携し、啓発活動を実施します。	こども課 こども係	(達成状況・課題) ・少年警察ボランティア、子ども会育成会連絡協議会の事業として、夜間パトロールを実施(8月)。 ・関係機関への非行防止パンフレットの配布、チャンネル・ユウを利用した啓発活動。 (今後の取り組み・改善策) ・子ども会育成会連絡協議会事業として、夜間パトロールの継続と啓発活動を継続していく。

第6章 みんなで支え合い 子どもたちを育てていく

<p>(達成状況・課題)</p> <p>今年度は明確なDVの相談や通報はなかった。表面化していない案件が少なからずある事も予想されることから、常に情報収集に努める。</p>	<p>進捗状況 (達成状況・課題)</p> <p>○</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1件相談があり、福祉事務所の女性相談員へ繋がった。 ・住民基本台帳事務における支援措置について1件継続申請があり、福祉事務所女性相談員と連携を取り対応した。 	<p>基本事業の成果指標</p>	<p>以下のとおり</p>
<p>(今後の取り組み・改善策)</p> <p>今後も民生児童委員や福祉推進委員からの通報等アンテナを高くしておくとともに、社協や福祉事業所の介護職員等からの情報収集に努める。</p>	<p>(今後の取り組み・改善策)</p>		<p>【保健福祉課:B】 対応件数は少ないが、常にこども課や民生児童委員と連携を取り情報収集に努めた。</p> <p>【こども課:B】 実務者会議を開催することができなかった。児相やこども家庭支援センターこつこと連携し、支援にあたった。</p>
<p>(達成状況・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2か月おきに児童相談所担当者と進行管理を行い、在宅支援児童・施設入所児童について把握したり、新規登録児童について情報共有をした。 ・2月に要対協代表者会議を開催し、当町の事例をもとに支援の方法や連携のとり方について講演会を行った(児童相談所長)。 ・要対協に実務者会議を設置した(30年度より開催していく)。 	<p>進捗状況 (達成状況・課題)</p> <p>◎</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケースにより児童相談所の担当者が異なるため、それぞれと情報を共有し、支援にあたった。保健福祉課や児童家庭支援センターと連携し支援をするケースも多かった。 ・代表者会議では健和会病院の和田医師による講演を行った。 ・実務者会議は行うことができなかった。学校や保育園といった所属の見守りケースも多いため、来年度早々に行う必要がある。 	<p>次期計画の方向性</p>	<p>以下のとおり</p>
<p>(今後の取り組み・改善策)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童相談所担当者の変更となるが、2か月おきの連絡会を継続し、対象児童の把握に努める。 ・実務者会議を行い、関係機関とのより細やかな連携を図る。 	<p>(今後の取り組み・改善策)</p>		<p>【保健福祉課:維持継続】 情報収集に努め、児童相談所や福祉事務所と連携を密にとり、緊急時には即時対応できるように努める必要がある。</p> <p>【こども課:拡大・改善】 実務者会議を行うことができなかったため、今後は定期的に開催し、全ケースの進行状況について把握し各機関と連携し、より丁寧な支援を行う必要がある。そのためにも多様な専門職の配置を検討する。</p>
<p>(達成状況・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8単位に補助金を交付した。 ・6月の役員研修会に28人、7月の交流研修会に61人が参加した。 	<p>進捗状況 (達成状況・課題)</p> <p>○</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金の交付要綱を制定した。 ・ジュニア・リーダー研修会は台風のため中止した。 	<p>基本事業の成果指標</p>	<p>以下のとおり</p>
<p>(今後の取り組み・改善策)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金の交付要綱を整備し、より公平な交付を行う。 ・課題となっている育成会事業への参加者減について、意見交換を行い、対応していく。 	<p>(今後の取り組み・改善策)</p>		<p>【保健福祉課:B】 保護司、更生保護女性会と連携を取り社会を明るくする運動の推進を行った。街頭啓発活動場所を拡大し活動を行った。</p>
<p>(達成状況・課題)</p> <p>社会を明るくする運動については、街頭啓発活動(リーフレット配布)を従来の小・中学生から町内2ヶ所の駅に拡大し、より広範囲で多くの人に、運動のスローガンを周知できた。</p>	<p>進捗状況 (達成状況・課題)</p> <p>◎</p> <p>松川町社会を明るくする運動を予定通り行った。街頭啓発活動や小中学校から長野県作文コンテストへの応募を行った。</p>	<p>次期計画の方向性</p>	<p>以下のとおり</p>
<p>(今後の取り組み・改善策)</p> <p>今後も保護司や更生保護女性、関係機関と連携し、啓発活動を工夫して実施していく。</p>	<p>(今後の取り組み・改善策)</p>		<p>【こども課:継続維持】 より公平な交付のため、交付要綱を見直す。引き続き防犯パトロールを行い、安全な環境づくりを行う。</p>
<p>(達成状況・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少年警察ボランティア、子ども会育成会連絡協議会の事業として、夜間パトロールを実施した(8月)。 ・関係機関への非行防止パンフレットの配布、チャンネル・ユウを利用した啓発活動を行った。 	<p>進捗状況 (達成状況・課題)</p> <p>◎</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少年警察ボランティア、子ども会育成会連絡協議会協働で、夜間パトロールを実施した(8月)。 ・関係機関への非行防止パンフレットの配布、チャンネル・ユウを利用した啓発活動を行った。 	<p>【保健福祉課:維持継続】</p>	<p>非行や犯罪を少しでも減少させるため、社会を明るくする運動を継続していく事により、活動の周知を図っていく。</p>
<p>(今後の取り組み・改善策)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども会育成会連絡協議会事業として、夜間パトロールの継続と啓発活動を継続していく。 	<p>(今後の取り組み・改善策)</p>		